令和9年度

大学院海洋科学技術研究科
博士前期課程学生募集要項

（令和9年10月入学含む）

（第2次募集）

1. 海洋生命資源科学専攻
2. 食機能保全科学専攻
3. 海洋資源環境学専攻
4. 海洋管理政策学専攻
5. 海洋システム工学専攻
6. 海運ロジスティクス専攻
7. 食品流通安全管理専攻

令和８年１０月

国立大学法人
東京海洋大学
Tokyo University of Marine Science and Technology

東京海洋大学　https://www.kaiyodai.ac.jp

目次

◎出願の流れ i
◎出願日程 1
◎ アドミッションポリシー 2
◎出願 9
１．募集人員 ９
２．出願資格等 １０
３．入学資格審査 １２
４．障害等がある入学志願者との事前相談 １２
５．出願期間 １３
６．出願手続 １４
７．入学者選抜 ２３
８．試験日程 ２４
９．不正行為の取扱い ２５
１０．合格発表 ２６
１１．入学手続 ２６
１２．入学に要する経費 ２６
１３．情報提供 ２６
１４．交通の案内 ２６
１５．注意事項 ２６
１６．教育研究上の目的 ２７
１７．安全保障貿易管理 ２８
１８．入学者選抜に用いた個人情報の取扱いについて ２８
１９．その他 ２８
専攻案内 **３２**
●海洋生命資源科学専攻 ３３
●食機能保全科学専攻 ３５
●海洋資源環境学専攻 ３８
●海洋管理政策学専攻 ４１
●海洋システム工学専攻 ４４
●海運ロジスティクス専攻 ４７
●食品流通安全管理専攻 ５１

《重要なお知らせ》

〈インフルエンザ等罹患者への対応について〉

★学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項について

試験当日に、学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻しん、新型コロナウイルス感染症等）にかかり治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験を認めません。ただし、病状により学校医その他の医師おいて感染のおそれがないと認められた者は、この限りでありません。
なお、本学では上記理由による追試験や入学検定料の返還は行いません。
受験者の皆さんは、試験当日に万全の体調で試験に臨めるよう、感染予防・健康管理に十分ご留意願います。

〈不測の事態が発生した場合の諸連絡〉

災害等により不測の事態が発生した場合、本学入学者選抜に関する情報提供は次の本学ホームページ等により行いますので、出願及び受験の直前は特に注意してください。
TOPページ（NEWS一覧→大学院入試　又は　入試情報→大学院入試→重要なお知らせ）

◎出願の流れ

〈令和８年熊本地震への対応について〉
令和８年熊本地震の被災者が出願する入学者選抜試験のうち、出願受付期間が令和８年９月１日～令和９年７月２７日の入学者選抜試験を対象とし、入学検定料を免除します。申請方法及び審査等は以下をご確認ください。
https://www.kaiyodai.ac.jp/news/e_graduate/detail/8_10.html

出願の流れ

出願登録はインターネットで行います。出願登録から受験票の印刷までの流れは、以下の通りです。

STEP 1 事前準備 → STEP 2 出願サイトにアクセス → STEP 3 マイページの登録 → STEP 4 出願内容の登録 → STEP 5 入学検定料の支払い → STEP 6 必要書類の提出 → STEP 7 出願完了 → 受験票の印刷

STEP 1 事前準備

- インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
- 本学所定様式をダウンロードし、内容を作成のうえPDFに変換しておいてください。また、その他必要書類を準備しておいてください。準備に時間を要する場合がありますので、早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※本学所定様式及び必要書類は、必ず募集要項で確認してください

STEP 2 インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ https://e-apply.jp/ds/tkaiyo-gs/
または、
大学ホームページ ▶ https://www.kaiyodai.ac.jp/
からアクセス

STEP 3 マイページの登録

出願登録には事前にマイページの作成が必要となります。
マイページ登録後、出願期間になったら専用サイト及び画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

①初めて登録する方は マイページ登録 からログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って 仮登録メールを送信 > をクリックしてください。

③ユーザー登録画面から ログインページへ をクリックしてください。

④登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。

⑤ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた「初期パスワード」にて ログイン をクリックしてください。

⑥初期パスワードの変更を行ってください。

⑦表示された個人情報を入力して 次へ をクリックしてください。

⑧個人情報を確認して この内容で登録する をクリックしてください。

⑨登録完了となります。
マイページへ を
クリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、出願手続きを行う > ボタンをクリックすると出願手続に進めます。

STEP 4

出願内容の登録

マイページ登録が完了された方は、出願サイトTOPページのログインからマイページに登録したメールアドレス及び設定したパスワードを入力し画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①マイページログイン後の
出願手続きを行う > ボタン
から登録画面へ

②志望課程、選抜区分の選択
及び留意事項の確認

③志望専攻、入学時期、受験科目
等の選択及び指導予定教員等
の入力

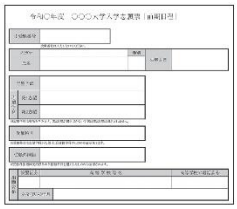
④顔写真のアップロード
写真選択へ > ボタンをクリックし
写真を選択します。

⑤個人情報（氏名・住所等）の
入力及び出願書類のアップ
ロード

⑥出願内容の確認
出願書類(PDF)(サンプル) ボタンを
クリックし出願書類を確認してください。
申込内容に間違いがなければ、
この内容で登録する ボタンを
クリックしてください。

⑦出願申込完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。
表示された受付番号（12桁）を控えて
おいてください。
また、支払手続き案内メールが送信され
ます。

[STEP5]
入学検定料の支払い方法
- コンビニエンスストア
- ペイジー対応銀行ATM
- ネットバンキング
- クレジットカード



[STEP6]
出願に必要な書類PDF（イメージ）
※検定料納入後に印刷できます。

出願申込完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

メールを受信制限している場合は、送信元（@e-apply.jp）からのメール受信を許可してください。※送信メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。クレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP 5

入学検定料の支払い

＊お支払いには期限がありますのでご注意ください。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード

出願内容の登録と同時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。※日本国内のみ

●レジで支払い可能

セブン-イレブン
デイリーヤマザキ
セイコーマート

●店頭端末を利用して支払い可能

Loppi
ローソン
ミニストップ
マルチコピー機
ファミリーマート

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。※日本国内のみ

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン

店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「払込票番号（13桁）」を伝える
レジで検定料を現金で支払う
領収書（レシート形式）を必ず受け取る

デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストアー

店頭レジ
レジで「オンライン決済」と伝える
「オンライン決済番号（11桁）」を伝える
レジで検定料を現金で支払う
領収書（レシート形式）を必ず受け取る

ローソン ミニストップ

Loppi
「各種番号をお持ちの方」を選択
「お客様番号（11桁）」入力
「マルチペイメントサービス」を選択
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認
発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料を現金で支払う
申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。
払込受領証または受領書（レシート形式）を必ず受け取る

ファミリーマート

マルチコピー機
「代金支払い/チャージ（コンビニでお支払い Payment/Charge）」を選択
「お客様番号（11桁）」入力
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認
発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料を現金で支払う
申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。
払込受領証または受領書（レシート形式）を必ず受け取る

セイコーマート

店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「オンライン決済番号（11桁）」を伝える
レジで検定料を現金で支払う
払込受領証または受領書（レシート形式）を必ず受け取る

4 銀行ATM

Pay-easy 利用ATM

ペイジー対応銀行ATM
「税金・料金払い込み」などを選択
収納機関番号「58021」を入力
「お客様番号（11桁）」入力
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認
「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う
ご利用明細書を必ず受け取る

STEP 6

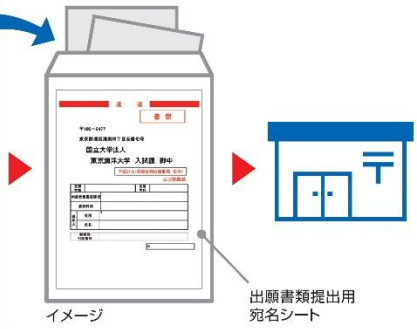
必要書類の提出 ＊登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

必要書類を出願期間内に提出してください。

必要書類

出願に必要な書類は、各学生募集要項「出願書類」を参照して準備してください。

入学志願票 ＋ 卒業証明書等



イメージ

提出先

●**持参の場合**（平日9～17時 ※12～13時除く）
（品川キャンパス）　入試課入試第二係
（越中島キャンパス）越中島地区事務室教育支援係

●**郵送の場合**
〒108-8477　東京都港区港南4-5-7
東京海洋大学　入試課　行

「入学志願票」の印刷方法

(1) マイページに表示された 出願書類(PDF) のボタンをクリックしてください。

(2) お支払いが正常に完了すると 出願書類(PDF) のボタンがクリックできるようになり入学志願票の印刷ができます。

※一度受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を提出して完了（各選抜の出願締切日必着）となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、インターネット出願登録、検定料の支払い、出願に必要な書類の提出期間は学生募集要項に記載の通りです。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP 7

受験票の印刷

出願期間後に、インターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。受験票が印刷可能になったら、メールで通知が届きます。
「インターネット出願システム　ログイン」ボタンからログインして、必ず各自で受験票を印刷し、試験当日に持参してください。

※パソコン等の画面上の受験番号と、実際に印刷された受験票の受験番号が一致していることを必ず確認してください。

◎出願日程

	入学資格審査が必要な方	その他の方	一般選抜特別日程志願者（本学の海洋科学専攻科学生又は海洋工学部乗船実習履修者で、特別日程での受験を希望する者）
入学資格審査 受付締切	11/12（木）	－	－
入学資格審査 結果通知	11/25（水）頃	－	－
出願期間	11/30（月）～12/3（木）　17時まで		
学力試験	2/2（火）・3（水）		3/15（月）
合格発表	3/4（木）		3/18（木）
入学手続	3/8（月）11時～3/16（火）17時まで		3/18（木）16時～ 3/19（金）17時まで

※　令和９年１０月入学に合格した方は、令和９年９月に入学手続を行います。

◎ アドミッションポリシー

【博士前期課程】

１． 受け入れる学生に求める関心・意欲

大学院海洋科学技術研究科博士前期課程では、時代や社会に機動的に対応でき、地球規模での海洋に係わる諸課題の解決に創造的に立ち向かい、かつ、海洋とその関連産業分野における先端領域を切り拓く、意欲と能力を持つ学生を求めます。

２． 受け入れる学生に求める学修成果

⑴専門的学識

博士前期課程における専門分野の学習に必要な海洋・水産・海事に関する基礎的な専門知識と実験・実習等で培われた研究の遂行に必要な技術の修得

⑵豊かな国際性と幅広い教養

異分野との協働や英語による情報発信などグローバルに活躍する人材に求められる幅広い教養と国際的・文化的素養

⑶自ら考え判断し表現する能力

社会的背景を踏まえ、解決すべき課題について論理的に思考し、問題解決に向けた適切なアプローチができる基礎的な能力

⑷現場で通用する実践力

自分の考えをわかりやすく他者に伝える表現力や、積極的に他者と交流するコミュニケーション能力と社会に対する責任感

３．入学者選抜での評価方法

入学者選抜に際しては、「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜および外国人留学生特別推薦選抜を実施し、学生を選考します。

・一般選抜（口述試験または学力試験）

口述試験では、口述試験結果、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行います。

学力試験では、学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行います。

・社会人特別選抜

学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行います。

・外国人留学生特別選抜

学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行います。

・外国人留学生特別推薦選抜

書類審査または口述試験により総合的に評価を行います。

海洋生命資源科学専攻

１．受け入れる学生に求める関心・意欲

海洋生物に特異な生命活動の仕組みの解明やその特徴を活用した研究に興味があり、その成果を海洋生物資源の保全と持続的利用に応用することに意欲をもって取り組み、自立して研究を進める能力のある学生を求めます。

２．受け入れる学生に求める学修成果

⑴専門的学識

博士前期課程における専門分野の学習に必要な海洋生命資源科学に関する基礎的な専門知識と実験・実習等で培われた研究の遂行に必要な技術の修得

⑵豊かな国際性と幅広い教養

異分野との協働や英語による情報発信などグローバルに活躍する人材に求められる海洋生命資源科学に関する幅広い教養と国際的・文化的素養

⑶自ら考え判断し表現する能力

社会的背景を踏まえ、海洋生命資源科学に関する解決すべき課題について論理的に思考し、問題解決に向けた適切なアプローチができる基礎的な能力

⑷現場で通用する実践力

海洋生命資源科学に関する自分の考えをわかりやすく他者に伝える表現力や、積極的に他者と交流するコミュニケーション能力と社会に対する責任感

３．入学者選抜での評価方法

入学者選抜に際しては、「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜および外国人留学生特別推薦選抜を実施し、学生を選考します。

・一般選抜（口述試験または学力試験）

口述試験では、口述試験結果、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行います。

学力試験では、学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行います。

・社会人特別選抜

学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行います。

・外国人留学生特別選抜

学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行います。

・外国人留学生特別推薦選抜

書類審査または口述試験により総合的に評価を行います。

食機能保全科学専攻

１．受け入れる学生に求める関心・意欲

食機能保全科学が守備領域とする食品の安全性の確保と向上、食品の栄養・保健機能の解明および食品品質の最適制御などに関して興味を持ち、それらの実現のための課題を自ら発見し解決する能力の取得に意欲がある学生を求めます。

２．受け入れる学生に求める学修成果

⑴専門的学識

博士前期課程における専門分野の学習に必要な食機能保全科学に関する基礎的な専門知識と実験・実習等で培われた研究の遂行に必要な技術の修得

⑵豊かな国際性と幅広い教養

異分野との協働や英語による情報発信などグローバルに活躍する人材に求められる食機能保全科学に関する幅広い教養と国際的・文化的素養

⑶自ら考え判断し表現する能力

社会的背景を踏まえ、食機能保全科学に関する解決すべき課題について論理的に思考し、問題解決に向けた適切なアプローチができる基礎的な能力

⑷現場で通用する実践力

食機能保全科学に関する自分の考えをわかりやすく他者に伝える表現力や、積極的に他者と交流するコミュニケーション能力と社会に対する責任感

3．入学者選抜での評価方法

入学者選抜に際しては、「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜および外国人留学生特別推薦選抜を実施し、学生を選考します。

・一般選抜（口述試験または学力試験）

口述試験では、口述試験結果、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行います。

学力試験では、学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行います。

・社会人特別選抜

学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行います。

・外国人留学生特別選抜

学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行います。

・外国人留学生特別推薦選抜

書類審査または口述試験により総合的に評価を行います。

海洋資源環境学専攻

1．受け入れる学生に求める関心・意欲

海洋資源環境学専攻は、海洋の環境とその保全、海洋生物と環境との関わり、海洋資源およびエネルギーの応用的開発や持続的利用に係る諸課題に関心を持ち、幅広い知識と技術を修得して、課題解決の方法を積極的に探求する意欲を持つ学生を求めます。

2．受け入れる学生に求める学修成果

⑴専門的学識

博士前期課程における専門分野の学習に必要な海洋の環境及び資源に関する基礎科学と応用科学に関する基礎的な専門知識と実験・実習等で培われた研究の遂行に必要な技術の修得

⑵豊かな国際性と幅広い教養

異分野との協働や英語による情報発信などグローバルに活躍する人材に求められる海洋の環境及び資源に関する基礎科学と応用科学に関する幅広い教養と国際的・文化的素養

⑶自ら考え判断し表現する能力

社会的背景を踏まえ、海洋の環境及び資源に関する基礎科学と応用科学に関する解決すべき課題について論理的に思考し、問題解決に向けた適切なアプローチができる基礎的な能力

⑷現場で通用する実践力

海洋の環境及び資源に関する基礎科学と応用科学に関する自分の考えをわかりやすく他者に伝える表現力や、積極的に他者と交流するコミュニケーション能力と社会に対する責任感

３．入学者選抜での評価方法

入学者選抜に際しては、「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜および外国人留学生特別推薦選抜を実施し、学生を選考します。

・一般選抜（口述試験または学力試験）

口述試験では、口述試験結果、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行います。

学力試験では、学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行います。

・社会人特別選抜

学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行います。

・外国人留学生特別選抜

学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行います。

・外国人留学生特別推薦選抜

書類審査または口述試験により総合的に評価を行います。

海洋管理政策学専攻

１．受け入れる学生に求める関心・意欲

多面的に利用されている海洋を計画的に利用しかつ保全するための総合的管理・政策について関心があり、自然科学・社会科学・人文科学の３分野にまたがる学際的な課題の解決を探求する強い意欲を持つ学生を求めます。

２．受け入れる学生に求める学修成果

⑴専門的学識

博士前期課程における専門分野の学習に必要な海洋管理政策学に関する基礎的な専門知識と実験・実習等で培われた研究の遂行に必要な技術の修得

⑵豊かな国際性と幅広い教養

異分野との協働や英語による情報発信などグローバルに活躍する人材に求められる海洋管理政策学に関する幅広い教養と国際的・文化的素養

⑶自ら考え判断し表現する能力

社会的背景を踏まえ、海洋管理政策学に関する解決すべき課題について論理的に思考し、問題解決に向けた適切なアプローチができる基礎的な能力

⑷現場で通用する実践力

海洋管理政策学に関する自分の考えをわかりやすく他者に伝える表現力や、積極的に他者と交流するコミュニケーション能力と社会に対する責任感

３．入学者選抜での評価方法

入学者選抜に際しては、「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜および外国人留学生特別推薦選抜を実施し、学生を選考します。

・一般選抜（口述試験または学力試験）

口述試験では、口述試験結果、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行う。

学力試験では、学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行う。

・社会人特別選抜

学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行う。

・外国人留学生特別選抜

学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行う。

・外国人留学生特別推薦選抜

書類審査または口述試験により総合的に評価を行う。

海洋システム工学専攻

１．受け入れる学生に求める関心・意欲

海洋システム工学専攻では、海洋観測・作業機械や船舶・海洋構造物などの海洋人工物を構成する機器・機械、また、これらを統合したシステムに関心を持ち、システム工学・環境工学・安全工学を核とする学問体系の下で、“海洋環境と海洋人工物との調和”という観点に立って、大局的な視点から開発・保全・修復に積極的に取り組む学生を求めます。

２．受け入れる学生に求める学修成果

⑴専門的学識

博士前期課程における専門分野の学習に必要なシステム工学・環境工学・安全工学に関する基礎的な専門知識と実験・実習等で培われた研究の遂行に必要な技術の修得

⑵豊かな国際性と幅広い教養

異分野との協働や英語による情報発信などグローバルに活躍する人材に求められるシステム工学・環境工学・安全工学に関する幅広い教養と国際的・文化的素養

⑶自ら考え判断し表現する能力

社会的背景を踏まえ、システム工学・環境工学・安全工学に関する解決すべき課題について論理的に思考し、問題解決に向けた適切なアプローチができる基礎的な能力

⑷現場で通用する実践力

システム工学・環境工学・安全工学に関する自分の考えをわかりやすく他者に伝える表現力や、積極的に他者と交流するコミュニケーション能力と社会に対する責任感

３．入学者選抜での評価方法

入学者選抜に際しては、「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜および外国人留学生特別推薦選抜を実施し、学生を選考します。

・一般選抜（口述試験または学力試験）

口述試験では、口述試験結果、成績証明書および入学定員等を考慮して総合的に評価を行う。

学力試験では、学力試験（筆記試験および口頭試問）の最低基準を満たしている者の中から、学力試験結果、成績証明書および入学定員等を考慮して総合的に評価を行う。

・社会人特別選抜

学力試験（小論文および口頭試問）の最低基準を満たしている者の中から、学力試験結果、成績証明書および入学定員等を考慮して総合的に評価を行う。

・外国人留学生特別選抜

学力試験（筆記試験および口頭試問）の最低基準を満たしている者の中から、学力試験結果、成績証明書および入学定員等を考慮して総合的に評価を行う。

・外国人留学生特別推薦選抜

書類審査または口述試験により総合的に評価を行う。

海運ロジスティクス専攻

１．受け入れる学生に求める関心・意欲

海運ロジスティクス専攻では、地球的規模の視野を持ち、海運と物流の安全・効率に関する諸問題を発見し、その解を得るために必要な理論的・実学的素養の修得に強い意欲を持つ学生を求めます。

２．受け入れる学生に求める学修成果

⑴専門的学識

博士前期課程における専門分野の学習に必要な海運ロジスティクスに関する基礎的な専門知識と実験・実習等で培われた研究の遂行に必要な技術の修得

⑵豊かな国際性と幅広い教養

異分野との協働や英語による情報発信などグローバルに活躍する人材に求められる海運ロジスティクスに関する幅広い教養と国際的・文化的素養

⑶自ら考え判断し表現する能力

社会的背景を踏まえ、海運ロジスティクスに関する解決すべき課題について論理的に思考し、問題解決に向けた適切なアプローチができる基礎的な能力

⑷現場で通用する実践力

海運ロジスティクスに関する自分の考えをわかりやすく他者に伝える表現力や、積極的に他者と交流するコミュニケーション能力と社会に対する責任感

３．入学者選抜での評価方法

入学者選抜に際しては、「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜および外国人留学生特別推薦選抜を実施し、学生を選考します。

・一般選抜（口述試験または学力試験）

口述試験では、口述試験結果、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行う。

学力試験では、学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行う。

・社会人特別選抜

学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行う。

・外国人留学生特別選抜

学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行う。

・外国人留学生特別推薦選抜

書類審査または口述試験により総合的に評価を行う。

食品流通安全管理専攻

１．受け入れる学生に求める関心・意欲

フードサプライチェーンのさまざまな過程で食品安全・品質管理について体系的に学習し基礎力を蓄積すると同時に、問題解決能力・判断力の鍛錬を通じて、食品安全・品質管理の専門家になること、さらに、食品安全に係わるリスクを考慮したうえで経営方針を企画策定し、実施の指揮を取ることが出来る総合的な能力を持つ経営者・管理者になることを目指し、自己の能力を開発したいという強い意欲を持つ学生を求めます。

２．受け入れる学生に求める学修成果

⑴専門的学識

博士前期課程における専門分野の学習に必要な食品安全・品質管理に関する基礎的な専門知識と実験・実習等で培われた研究の遂行に必要な技術の修得

⑵豊かな国際性と幅広い教養

異なる立場の専門家、管理者、経営者との協働や英語による情報発信などグローバルに活躍する人材に求められる幅広い教養と国際的・文化的素養

⑶自ら考え判断し表現する能力

社会的背景を踏まえ、食品安全・品質管理に関する解決すべき課題について論理的に思考し、問題解決に向けた適切なアプローチができる基礎的な能力

⑷現場で通用する実践力

食品安全を実現するために自分の考えをわかりやすく他者に伝える表現力や、積極的に他者と交流するコミュニケーション能力と社会に対する責任感

３．入学者選抜での評価方法

入学者選抜に際しては、「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜および外国人留学生特別推薦選抜を実施し、学生を選考します。

・一般選抜（口述試験または学力試験）

口述試験では、口述試験結果、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行う。

学力試験では、学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行う。

・社会人特別選抜

学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行う。

・外国人留学生特別選抜

学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行う。

・外国人留学生特別推薦選抜

書類審査または口述試験により総合的に評価を行う。

◎出願

1. 募集人員

■令和９年４月入学

専　攻　名	募集人員		
	一般選抜	外国人留学生 特別選抜	社会人特別選抜
海洋生命資源科学専攻	若干名		
食機能保全科学専攻	若干名		
海洋資源環境学専攻	若干名		
海洋管理政策学専攻	若干名		
海洋システム工学専攻	若干名		
海運ロジスティクス専攻	１０名		
食品流通安全管理専攻	募集無し	特別選抜－A	３名
		特別選抜－B	４名

■令和９年１０月入学

専　攻　名	募集人員		
	一般選抜	外国人留学生 特別選抜	社会人特別選抜
海洋生命資源科学専攻	若干名		
食機能保全科学専攻	若干名		
海洋資源環境学専攻	若干名		
海洋管理政策学専攻	若干名		
海洋システム工学専攻	若干名		
海運ロジスティクス専攻	若干名		
食品流通安全管理専攻	募集無し	特別選抜－A	若干名
		特別選抜－B	若干名

注)　募集人員は、各専攻とも一般選抜、外国人留学生特別選抜及び社会人特別選抜の合計数です。（令和9年10月入学を除く）

注)　国費外国人留学生、政府派遣による留学生については、別途選抜いたします。

注)　入学希望時期については、間違いのないように出願してください。

〈大学院入試Q&A〉
本学ホームページに大学院入試に関するQ&Aを掲載していますので、出願にあたってはそちらもご覧ください。
TOPページ(HOME→ 入試情報→大学院入試→入試Q&A)

2. 出願資格等

「【1】出願資格」のいずれかに該当し、かつ「【2】出願要件」を満たす者

【1】出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。
ただし、下記（1）～（１０）において、、令和9年１０月入学希望者は令和9年3月を令和9年9月と読み替えるものとします。

(1) 学校教育法第８３条に定める大学を卒業した者及び令和9年3月までに卒業見込みの者

(2) 学校教育法第１０４条第7項の規定（大学改革支援・学位授与機構）により学士の学位を授与された者及び令和9年3月までに授与される見込みの者

(3) 外国において学校教育における１６年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者

(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者

(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が三年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和9年3月までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者

※ (6)により出願する者は事前に入試課へご相談ください。

(7) 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者

(8) 文部科学大臣の指定した者（昭和２８年文部省告示第５号）

(9) 令和9年3月末日で、大学の在学期間が3年以上となる者又は外国において学校教育における１５年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者、若しくは外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校における１５年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者、若しくは我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１５年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者で、本学の大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

(10) 本学の大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月までに２２歳に達する者

※ 学校教育において大学卒業までに１６年を要しない国からの志願者は(9)又は(10)になりますので注意してください。（ただし、(6)により出願する者を除く。）

※ (9)又は(10)により出願する者は入学資格審査が必要になります。該当者は、入学資格審査の手続きを行ってください。（3.入学資格審査参照）

●各選抜区分の出願資格について

選 抜 区 分	出 願 資 格
① 一般選抜	前頁出願資格（1）～（10）のいずれかに該当する者
② 外国人留学生特別選抜	「外国人（日本国永住許可を得ている者は除く）で大学等において教育を受け又は研究する目的をもって入国し、又は入国しようとする者で本学大学院に入学を志願する者」のうち、前頁出願資格（1）～（10）のいずれかに該当する者
③ ・社会人特別選抜 ・社会人特別選抜－A （食品流通安全管理専攻のみ）	前頁出願資格（1）～（10）のいずれかに該当する者で、かつ次のどちらかの条件に該当する者【注】 ・企業等に正規雇用として2年以上の勤務実績がある者 ・大学卒業後5年以上の者
④ 社会人特別選抜－B （食品流通安全管理専攻のみ）	前頁出願資格（1）～（10）のいずれかに該当する者で、「食品関連企業に正規雇用として5年以上の勤務実績があり、出願者の業務実績を評価可能な者から推薦が受けられる者」【注】 ※「特別選抜－B」に該当するか不明である場合は、入試課へご相談ください。

【注】「社会人特別選抜」、食品流通安全管理専攻「社会人特別選抜－A」及び「社会人特別選抜－B」における各選抜の出願資格において、大学の正規課程に在籍中の就業期間は勤務実績に含みません。ただし、夜間・通信制の大学に在籍しながら昼間正規雇用として就業していた期間は勤務実績に含みます。（在職証明書に雇用形態[正規雇用等の身分]を必ず明記のこと。）

【２】出願要件

出願前に指導予定教員に連絡をとり、かつ指導予定教員から受験の承諾を得た者

＊指導予定教員の連絡先は、専攻案内にある各専攻の「指導教員一覧」をご覧ください。
＊出願する際の提出書類への指導予定教員のサイン及び押印は不要です。（入試課で受験承諾の確認を行います。）

※入試日程や実施方法については、変更される可能性があります。ホームページで最新の情報をご確認ください。

3. 入学資格審査

「２．出願資格等」の出願資格(９)又は(10)によって出願する者は、書類審査による事前審査を行いますので、
令和８年１１月１２日（木）までに下記の書類を入試課入試第二係へ提出してください。
（出願資格(１)～(８)によって出願する者は、入学資格審査を行いません。）
本学所定様式はホームページ（令和８年１１月上旬頃に掲載）よりダウンロードし、作成して印刷のうえ提出してください。
郵送の場合は締切日必着とします。審査結果は令和８年１１月２５日(水)頃に本人あてに通知を発送します。
なお、入学資格審査を希望する者は、書類提出前に必ず入試課へご相談ください。

※　書類審査だけで判断できない場合は、面接又は小論文により学力判定を行います。
　なお、実施日時等については、本人あてに通知しますので注意してください。
※　以前に本学の個別審査を受け、出願資格無しと判定された者のうち、改めて個別審査を受けようとする場合は、新たな学習歴又は資格取得などの事実が発生しない限り申請は認めませんのでご注意ください。

入学資格審査提出書類	備　　考
a. 入学資格審査願・履歴書	本学所定様式（ダウンロード書式）により必要事項を記入してください。 出願資格の欄には(９)又は(10)を記入してください。 ※免許・資格を有する者は、その写しを添付してください。
b. 最終出身学校の成績証明書	原本を提出してください。 **(コピー不可)**
c. 在学証明書又は最終出身学校の卒業(見込)証明書	原本を提出してください。 **(コピー不可)**
d. 研究歴証明書	本学所定様式（ダウンロード書式）により出身学校等の長、所属機関等の長又はそれに準じる者によって作成されたものを提出してください。 ※研究歴がない場合は、省略することができます。
e. 業務実績・研究業績報告書	本学所定様式（ダウンロード書式）により本人が行った研究業績及び業務実績について記入してください。 ※関係資料(学位論文、研究論文、技術報告、実用新案等)がある場合は、別途PDF化してメール（n-nyusi2@o.kaiyodai.ac.jp）にて提出してください。その際にはメール本文に氏名、志望専攻、指導予定教員を記載してください。 ※業績等がない場合もその旨を記載の上、提出してください。
f. 推薦書	本学所定様式（ダウンロード書式）により出身学校等の長、所属機関等の長又はそれに準じる者によって作成されたものを提出してください。なお、社会人特別選抜志願者で被雇用者ではない場合は、業界団体の責任者など勤務実態を把握できる第三者に作成してもらってください。 ※提出できない場合は省略することができます。
g. レターパックライト （事前審査結果返信用）	①お近くの郵便局・コンビニエンスストアなどの郵便切手類販売所（一部を除きます）で「レターパックライト」を購入（料金430円）してください。 ②購入後、「レターパックライト」の表紙の「郵便番号欄」に郵便番号を記入し、さらに「お届け先」欄に志願者の住所、氏名、電話番号を記入してください。 ※「レターパックライト」の表紙の下にある「ご依頼主様保管用シール」には何も記入しないでください。シールも剥がさないでください。

※日本語及び英語以外の言語で作成された書類等には、日本語訳又は英訳を必ず添付してください。

4. 障害等がある入学志願者との事前相談

本学大学院に入学を希望する者で、障害等があり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、
令和８年１１月１２日（木）までに、入試課入試第二係にあらかじめ申し出てください。

申し出により相談が必要な場合は、以下のとおり事前相談を行います。
(1) 相 談 日：令和８年１１月２５日（水）までの本学の指定する日
(2) 相談方法：本学所定の「入学試験受験上の配慮申請書」及び診断書等を提出していただき、必要な場合は、本学において志願者又は代理人との面談を行います。
　なお、本学ホームページに「入学試験受験上の配慮申請書」の様式を記載していますので、ご利用ください。
ＴＯＰページ（大学で学びたい方→大学院入試→障害等のある入学志願者との事前相談について）

※入試日程や実施方法については、変更される可能性があります。ホームページで最新の情報をご確認ください。

5. 出願期間

令和８年１１月３０日（月）～１２月３日（木）　１７：００必着

※詳細については、**６．出願手続** をご覧ください。
※インターネット出願サイトでの入力・登録期限及び検定料の支払期間に関わらず、郵便事情等を十分考慮の上、**上記出願期間内に必ず出願書類を提出してください。**

出願方法

(1) 書類持参の場合

出願登録後に印刷可能になる「出願書類提出用宛名シート」を封筒に貼り、切手を貼らずに受付窓口に提出してください。

○受付窓口（下記のどちらに提出しても構いません。）

（品川キャンパス　本部管理棟１階）入試課入試第二係　　TEL(03)5463－4265

（越中島キャンパス　1号館1階）越中島地区事務室教育支援係

※受付時間は平日（月～金）の９時から１７時までです。**（１２時～１３時の間を除く）**

(2) 郵送の場合

出願登録後に印刷可能になる「出願書類提出用宛名シート」を封筒に貼り、簡易書留にて下記の宛先まで郵送してください。

※海外からの郵送の場合は、「出願書類提出用宛名シート」は使用せず、宛先及び差出人等を手書きで書いてください。

出願に必要な書類の提出は、出願期間**必着**となりますのでご注意ください。

郵便局から受領した「書留・配達記録郵便物等受領証」（お客様控）は必ず保管してください。

この受領証により、東京海洋大学に出願書類等が届いたかどうか確認することができます。

詳細は日本郵便ホームページの「郵便追跡サービス」を参照ください。

https://trackings.post.japanpost.jp/services/srv/search/

○郵送先　　〒108-8477　東京都港区港南４－５－７　東京海洋大学 入試課入試第二係

出願上の諸注意

(1)「インターネット出願」は、マイページ登録、出願システムで登録しただけでは出願完了にはなりません。検定料を支払期間内に支払い、出願に必要な書類を出願期間内に本学に提出する必要があります。

(2) 出願完了後は、出願登録内容及び提出した出願書類の変更は認めません。

(3) 出願登録及び出願書類の内容と相違する事実が判明した場合は、受験を許可しないことがあります。また、合格者発表後又は入学後であっても、合格又は入学を取り消すことがあります。

(4) 受験のための渡日に係る日本滞在ビザが必要な方は、申請のために必要な書類をご自身でご用意ください。
招へい理由書等は日本在住の親戚や知人に作成を依頼してください。

(5)　日本国外から出願書類を送付する場合、**配送を依頼した業者等に必ず出願期間内に出願書類が届くかを確認し、配送が完了するまでは配送状況を確認し続けてください。もし上記出願期間最終日の前日までに**出願書類が届かない可能性がある場合は下記の入試課の問合せ先にメールにてご連絡ください。

問い合わせ等

インターネット出願サイトの操作方法・検定料支払い方法に関する問合せ
「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター
（運用会社：株式会社キャリタス）
電話　0120-202-079（出願期間中24時間対応）

入試に関する問合せ/出願書類提出先
東京海洋大学　入試課入試第二係
〒108-8477　東京都港区港南4-5-7
電話　03-5463-4265 （平日 9:00～17:00/土・日・祝日を除く）
メール　n-nyusi2@o.kaiyodai.ac.jp
※やむを得ない場合を除き、志願者本人が問い合わせてください。

インターネット出願システムのログインについて 出願登録、検定料支払、必要書類印刷、受験票印刷等でインターネット出願システムへのログインが必要になります。ログインは、出願サイトからログイン画面にアクセスして、マイページ登録時に入力したメールアドレス及びパスワードを入力してください。

6. 出願手続

出願にあたっては、出願前に指導予定教員に連絡をとり受験の承諾を得ることが、出願の要件となっていますので、留意してください。（*連絡先は各専攻の「指導教員一覧」をご覧ください。）

出願手続きは、出願期間内にインターネット出願システムにて出願登録をし、検定料を支払い、必要な書類を提出することによって完了します。なお、出願登録には事前にマイページの登録が必要です。

PROCESS 1	事　前　準　備	インターネット出願する前に必ず確認してください。
	⇓	
PROCESS 2	インターネット出願登録	パソコン等で本学ホームページからインターネット出願システムにアクセスし、マイページ登録、インターネット出願登録をしてください。また、本学指定出願書類をアップロードしてください。 令和8年11月25日（水）10:00 ～ 12月3日（木）16:30
	⇓	
PROCESS 3	検定料の支払い	インターネット出願システムの指示に従って、検定料をお支払いください。 令和8年11月25日（水）10:00 ～ 12月3日（木）16:30
	⇓	
PROCESS 4	出願に必要な書類の提出	インターネット出願システムから必要書類等を印刷し、他のすべての必要書類とともに本学に提出してください。 令和8年11月30日（月）～ 12月3日（木） 17:00必着
	⇓	
PROCESS 5	受験票等の印刷	出願が受理された方は、出願期間後にインターネット出願システムから受験票が印刷できるようになります。受験票は志願者各自が印刷して、必ず試験当日に持参してください。

PROCESS 1　事 前 準 備

⑴ パソコン等の動作環境

インターネット出願は、以下の環境で行ってください。

<ブラウザ>

・Microsoft Edge 最新版　・Google Chrome 最新版　・Mozilla Firefox 最新版　・Apple Safari 最新版

※ブラウザのタブ機能を使用して複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう不具合が発生する場合があります。複数のタブでの同時操作はしないでください。

※スマートフォンやタブレット等のモバイル端末は、閲覧等可能ですが推奨環境ではありませんので、一部の端末からは画面が正常に表示されない場合があります。また、印刷するための印刷機能を必要としますので、パソコンからの利用を推奨します。

※最新版はそれぞれのブラウザを立ち上げて以下のURLにアクセスして確認してください。

・Microsoft Edge⇒　edge://settings/help

・Google Chrome⇒　https://www.google.com/intl/ja/chrome/update/

・Mozilla Firefox⇒　https://support.mozilla.org/ja/kb/find-what-version-firefox-you-are-using

⑵ プリンター、用紙等の用意

様式類は、A4サイズ普通紙に印刷する必要がありますので、プリンター及び印刷用紙（普通紙、PPC用紙、OA用紙、コピー用紙等）を用意してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いませんが、個人情報の取り扱いには十分注意してください。

⑶ メールアドレスの用意及びメールの受信設定

出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。

@e-apply.jp、　@o.kaiyodai.ac.jp

マイページに登録したメールアドレスに、出願申込や支払い手続きの際、メールが送信されます。

※一度登録したメールアドレスは変更できません。

⑷ 本人写真データの用意

写真は本人確認に利用しますので、出願前3か月以内に撮影した正面、上三分身（おおむね胸から上）、脱帽、背景無しのカラー写真データを用意してください。（.jpeg、.jpg、.png、.bmp ファイルサイズは10MBまで）

※使用できない写真の例

不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、複数名で写っている、画像に加工を施している（目を大きく見せたり、本人のイメージを変えるような加工）、現像された写真を再撮影しているもの等

⑸ 本学所定様式のダウンロード及び作成

本学所定様式（令和８年１１月上旬頃に本学ホームページに掲載。志望理由書、学歴・職歴、社会人特別選抜は加えて業務実績報告書及び研究業績報告書）をダウンロードし、出願期間までに作成のうえＰＤＦに変換しておいてください。PROCESS 2(3)において出願サイト上でアップロードします。なお、ＰＤＦに変換するときは、一つ一つの書類ごとにファイルを分けて変換し、ファイル名を付けてください。

※「入学志願票」は、見本(ＰＤＦ)を参考にして内容を考えておいてください。PROCESS 2 (2)出願登録の段階で、作成した内容を出願サイト上で入力します。

⑹ その他の必要書類

成績証明書、卒業証明書または卒業見込証明書、推薦書、返信用封筒（レターパックライト）等、紙媒体の書類を出願期間に間に合うようにあらかじめ用意してください。成績証明書及び推薦状・推薦書は、PROCESS 2(3)において出願サイト上にアップロードしますので、スキャンしてＰＤＦに変換しておいてください。（原本を写真に撮影した画像をPDF化したものは受付不可）必要な書類については、PROCESS 2(3)の「出願書類のアップロード」及びPROCESS 4の「出願に必要な書類の提出」を確認してください。

⑺ 角形2号封筒の用意

必要書類提出のために、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）を用意してください。

PROCESS 2	インターネット出願登録及び本学指定出願書類のアップロード

(1) インターネット出願サイトにアクセス

本学ホームページ（https://www.kaiyodai.ac.jp/）から、インターネット出願サイトにアクセスし、トップページにある「マイページ登録」にて必要事項を入力・登録後、出願登録を行ってください。すでにマイページ登録済みの方は、「ログイン」から登録したメールアドレス及びパスワードを入力し、出願登録を行ってください。なお、マイページに登録するメールアドレスは、連絡時に使用しますので、志願者本人と確実に連絡が取れるアドレスを入力してください。

(2) 出願登録

入力画面に沿って、志願者情報、出願資格情報等を登録してください。

※指導予定教員は、事前に連絡をとり受験の承諾を得た教員名を入力してください。

※志願者情報の「電話番号」は、連絡時に使用しますので、志願者本人と確実に連絡が取れる番号を入力してください。

※あて名票住所は、日本国内の住所を入力してください。本学から書類等を郵送する際の送付先になりますので、書類等が確実に受け取れる住所を入力してください。

※顔写真データのアップロードもここで行います。画面上で写真サイズを切り取り（トリミング）することもできます。

(3) 出願書類のアップロード

出願書類のうち、下表の書類をPDFファイルに変換したうえで、出願サイト上でアップロードしてください。(ファイルには名前を付けてください。)

なお、提出する全ての出願書類については、PROCESS4の「出願に必要な書類の提出」に記載しています。

区分	出願書類	注意事項
各選抜共通	①志望理由書	研究計画を含めた志望理由を、本学所定様式（ダウンロード書式）により記入してください。
	②成績証明書	出身大学の学長が作成したもの。 ※出願資格(9)又は(10)により事前審査を受けた者は不要です。
	③学歴・職歴	本学所定様式（ダウンロード書式）により事項を記入してください。
外国人留学生特別選抜	④推薦状	出身大学の指導教員等、志願者の研究内容・適性を客観的に証明できる者により作成されたもの。（様式任意） 推薦状は提出が可能な場合のみ提出してください。 ※本学研究生として在籍している場合は、研究生出願時とは別に推薦状を提出してください。
社会人特別選抜	⑤業務実績報告書 ⑥研究業績報告書	本学所定様式（ダウンロード書式）により本人が行った業務実績及び研究業績について記入してください。（該当する業績等がない場合もその旨を記載の上、提出してください。） ※関係資料（研究論文、技術報告、実用新案等）がある場合は、PROCESS４の「出願に必要な書類の提出」において提出してください。 ※出願資格(9)又は(10)により事前審査を受けた者は不要です。
	⑦推薦書	(i)**食品流通安全管理専攻の社会人特別選抜-B**に出願をする者は、本学所定様式（ダウンロード書式）により出願者の業務実績を評価可能な者（勤務先又は元勤務先の所属長や人事部長、業界団体の責任者等）が作成したものを必ず提出してください。 (ii)社会人特別選抜（食品流通安全管理専攻の社会人特別選抜-Bを除く）の出願者は、推薦書の提出が可能な場合、(i)同様に提出してください。 ※出願資格(9)又は(10)により事前審査を受けた者は不要です。

※1 **日本語及び英語以外の言語で作成された書類等には、日本語訳又は英訳を必ず添付してください。**

※2 出願書類等に虚偽の記載をした場合、記載すべき事項を記載しなかった場合または提出すべき書類を提出しなかったことが判明した場合は、出願書類等の受理後でも出願無資格者とし、さらに入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

※3 記載された個人情報は、東京海洋大学において責任をもって管理します。

※4 いずれの書類も、原本を写真撮影した画像をPDF化したものは受付不可となります。

※5 出願書類の種類、記載内容の誤字脱字などが無いか、アップロード前に必ず確認をしてください。

⑷ 出願内容確認

入力が完了すると、入学志願票（サンプル）のボタンが表示されます。内容をよく確認して、誤りがなければ、「この内容で登録する」ボタンをクリックしてください。

⑸ 登録完了

画面に「受付番号」が表示されたら入力は完了です。「引き続き支払う」に進んでください。登録したメールアドレス宛に、「出願サービス支払手続き案内」メールが届きます。メールに記載されている受付番号は、出願内容の確認、検定料の支払い、出願に必要な書類の印刷等に用いますので入試終了まで大切に保管してください。

※「受付番号」は受験番号ではありません。受験番号は出願期間終了後に発行される「受験票」に記載されます。

【インターネット出願に関する注意事項】

・インターネット出願登録を完了しても、まだ出願手続きは完了していません。引き続き、検定料の支払い及び出願に必要な書類の提出を、**必ず期間内に行ってください。**

・インターネット出願登録完了後に、その日を含む4日以内に検定料の支払手続きが行われなかった場合は、出願登録したデータはキャンセルとみなされ、データが自動的に削除されますのでご注意ください。

・インターネット出願登録完了後は、登録内容の修正及び変更はできませんので、誤入力のないように注意してください。ただし、検定料支払いの前に誤りに気付いた場合は検定料を支払わずに、もう一度新たに最初から登録をやり直してください。（誤った登録データは、支払い期間中に検定料が支払われなければ、そのまま自動的にキャンセル扱いになり削除されます。）

・顔写真データは、出願写真として適切でないと判断された場合には、再提出となる場合があります。

PROCESS 3　検定料の支払い

「令和８年熊本地震」により被災された志願者の方は、以下のページをご参照ください。
https://www.kaiyodai.ac.jp/news/e_graduate/detail/8_10.html

検定料の支払いは、PROCESS 2のマイページ登録、インターネット出願登録完了及び本学指定出願書類のアップロード後に行います。出願登録完了後に、以下のいずれかの方法で支払い手続きに進んでください。

- 出願登録完了画面から、「引き続き支払う」をクリックする。
- 「出願サービス支払手続き案内」メールに表示されているＵＲＬから支払いページに進む。
- 出願サイトからマイページにログインして「お支払い」をクリックする。支払い方法を選択して、支払期間内に検定料の支払手続きを行ってください。

検　定　料	支　払　期　間
30,000円	令和８年１１月２５日（水）１０：００～１２月３日（木）１６：３０ 上記期間内で、インターネット出願登録を完了した日を含む4日以内に支払ってください。ただしインターネット出願登録を完了した4日に満たず出願最終日16：30になった場合は、上記の支払期間が優先され、以降の支払いは出来ませんのでご注意ください。

※検定料支払いには、別途手数料がかかります。手数料は支払人負担となります。手数料の額は、支払手続き画面に表示されます。

支　払　方　法	取　扱　機　関　等
クレジットカード （出願登録に引き続き支払完了）	VISA/MasterCard/JCB/AMERICAN EXPRESS/MUFGカード/DCカード/UFJカード/NICOSカード
ネットバンキング （インターネットで手続き完了）	ペイジー対応ネットバンキング/ PayPay銀行（旧：ジャパンネット銀行） /楽天銀行/住信SBIネット銀行/auじぶん銀行
コンビニエンスストア （各コンビニ端末画面の表示に従って必要情報を入力し支払う） ※日本国内のみ支払可能	セブン-イレブン/ローソン/ミニストップ（Loppi）/ファミリーマート（マルチコピー機）/デイリーヤマザキ/セイコーマート
郵便局・銀行ATM （ATMの画面表示に従って必要情報を入力し支払う）※日本国内のみ支払可能	ペイジー対応銀行ATM（ゆうちょ銀行も含まれます）

【検定料支払いに関する注意事項】

(1)インターネット出願サイトからダウンロードする入学志願票は、検定料支払い前には印刷出来ません。
(2)支払期間内に検定料の支払い手続きが行われなかった場合は、出願登録したデータはキャンセルとみなされ、データが自動的に削除されますのでご注意ください。
(3)クレジットカード決済で支払う際のカード名義人は、志願者本人ではなくても構いません。

【検定料の返還について】

払込済みの検定料は、次の場合を除きいかなる理由があっても返還しません。
(1) 検定料を払い込んだが、出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
(2) 誤って検定料を二重に払い込んだ場合

なお、上記(1)、(2)に該当する場合は、速やかに入試課入試第二係（TEL 03-5463-4265）まで連絡してください。後日、本学が別に定める返還額を返還します。

PROCESS 4	出願に必要な書類の提出

出願に際して提出する必要書類は、下表のとおりです。出願に必要な書類の提出は、PROCESS 3の検定料の支払いが完了した後に行います。インターネット出願サイトにログインして、「入学志願票」を印刷し、その他必要な書類を揃えて出願期間内に郵送または持参してください。

出願期間：令和８年１１月３０日（月）～１２月３日（木）１７；００必着

区分	出願書類	注意事項
各選抜共通	①入学志願票 ※PROCESS 2で作成したもの	インターネット出願システムからA4サイズで印刷してください。 指導予定教員欄へのサイン及び押印は必要ありません。
	②志望理由書 ※PROCESS 2でアップロードしたもの	PROCESS 2でアップロードした書類の原本を提出してください。
	③成績証明書 ※PROCESS 2でアップロードしたもの	出身大学の学長が作成したものです。原本を提出してください。（コピー不可） ※出願資格（９）又は(10)により事前審査を受けた者は不要です。
	④学歴・職歴 ※PROCESS 2でアップロードしたもの	PROCESS 2でアップロードした書類の原本を提出してください。
	⑤卒業証明書又は 卒業見込証明書	出身大学の学長が作成したものです。**（コピー不可）** ※出願資格（９）又は(10)により事前審査を受けた者は不要です。 **◆出願資格（２）で出願する場合（各省大学校及び高等専門学校専攻科等対象）** 学士の学位を授与された者は、大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与証明書を提出してください。それ以外の者は、学位授与申請受理証明書または学位授与申請予定証明書のいずれかを提出してください。
	⑥レターパックライト（返信用）	①　お近くの郵便局・コンビニエンスストアなどの郵便切手類販売所（一部を除きます）で「レターパックライト」を購入（料金430円）してください。 ②購入後、「レターパックライト」の表紙の「郵便番号欄」に郵便番号を記入し、さらに「お届け先」欄に志願者の住所、氏名、電話番号を記入してください。 ※「レターパックライト」の表紙の下にある「ご依頼主様保管用シール」には何も記入しないでください。シールも剥がさないでください。 ③郵送で出願する場合、「レターパックライト」を真ん中（「品名」記入欄あたり）から「お届け先」記入欄が見えるよう（外側）に折り曲げて封入してください。
	外国籍の志願者は、以下の⑦及び⑧を提出してください。	
	⑦パスポート（写し）	氏名、写真、旅券番号、有効期限が確認できるページを含むこと。
	⑧在留カード （表面と裏面の写し）	出願時に日本に在住している方は、出願時に窓口にて在留カード原本の確認も行います。ただし、郵送により出願を行う場合は、住民票（国籍、在留資格等の記載があるもの。写し不可。個人番号が非記載のもの。）を提出してください。

次ページに続く

一般選抜・外国人留学生特別選抜	**【希望者のみ**(外国人留学生特別選抜は**「外国語（英語）」選択者のみ)】** ⑨TOEICテストのスコア票、 TOEFL(iBT)スコアレポート 又はIELTS公式成績証明書 （スコア票等の提出方法については ※5を参照願います。）	TOEIC L&R（公開テスト、IPテストのいずれも可。ただし、IPテスト（オンライン）は不可。）、TOEFL(iBT)（Home Editionは不可）又はIELTS（Onlineは不可）のスコアシート**（願書受付期間最終日から過去2年以内に受験したもので、出願期間内にスコア票（原本）を提出できるものに限る。）**を提出した場合は、その成績を学力試験「外国語（英語）」の得点に換算し、その換算点と学力試験「外国語（英語）」筆記試験の得点を比較し、いずれか高得点の成績を用います。 **◆TOEICの場合の換算点** 換算点＝(TOEICスコア－220)/6（小数点以下切捨、最高点は100点、最低点は0点） TOEFL及びIELTSについては、本研究科が相当するTOEICスコアに換算の上、換算点を算出します。 〈注〉得点換算については、**学力試験「外国語（英語）」の受験が条件となります。**免除希望の場合は「外国語試験免除希望者」の欄をご参照ください。
特別選抜 外国人留学生	⑩推薦状 ※PROCESS 2でアップロードしたもの	出身大学の指導教員等、志願者の研究内容・適性を客観的に証明できる者により作成されたもの。（様式任意 原本を提出のこと。） 推薦状は提出が可能な場合のみ提出してください。 ※本学研究生として在籍している場合は、研究生出願時とは別に推薦状を提出してください。
社会人特別選抜	⑪在職証明書	勤務先の所属長等（人事部長相当職可）が作成した、出願資格の勤務実績に係わる在職期間及び雇用形態が明記された書類です。（様式任意） なお、被雇用者でない場合は、受験する試験区分の出願資格を証明する事項が入った在職証明書を業界団体の責任者など勤務実態を把握できる第三者に作成してもらってください。 ※職歴のある方は提出してください。
	⑫推薦書 ※PROCESS 2でアップロードしたもの **【食品流通安全管理専攻の特別選抜-Bは、提出必須】**	（ｉ）**食品流通安全管理専攻の社会人特別選抜-B**に出願をする者は、本学所定様式により出願者の業務実績を評価可能な者（勤務先又は元勤務先の所属長や人事部長、業界団体の責任者等）が作成したものを必ず提出してください。 （ii） **食品流通安全管理専攻の社会人特別選抜-B以外**に出願をする者は、推薦書の提出が可能な場合、（ｉ）同様に提出してください。 ※出願資格(9)又は(10)により事前審査を受けた者は不要です。
	⑬業務実績報告書及び、 研究業績報告書 ※PROCESS 2でアップロードしたもの	PROCESS 2でアップロードした業務実績報告書及び研究業績報告書の原本を提出してください。また、関係資料（研究論文、技術報告、実用新案等）がある場合は、別途PDF化してメール（n-nyusi2@o.kaiyodai.ac.jp）にて提出してください。その際にはメール本文に氏名、志望専攻、指導予定教員、出願サイト登録時の受付番号を記載してください。 ※出願資格(9)又は(10)により事前審査を受けた者は不要です。

次ページに続く

外国語試験免除希望者	【一般選抜】 ⑮TOEICテストのスコア票、TOEFL(iBT)スコアレポート 又はIELTS公式成績証明書 （スコア票等の提出方法については※５～※７を参照願います。）	次の①～③のいずれかに該当する者は、学力試験「外国語」の筆記試験を免除することができます。免除希望者は、スコア票、スコアレポート又は公式認定証（**願書受付期間最終日から過去２年以内に受験したもので、出願期間内にスコア票（原本）を提出できるものに限る。**）を提出してください。 なお、外国語試験免除者の外国語の得点は、一律80点（満点は100点）となります。 ①TOEIC L&R（公開テスト、IPテストのいずれも可。ただし、IPテスト（オンライン）は不可。）700点以上 ②TOEFL(iBT)（2026年1月20日以前に実施された試験）72点以上 TOEFL(iBT)（2026年1月21日以降に実施された試験）Overall Score4以上 ③IELTSオーバーオール・バンド・スコア5.5以上
	【外国人留学生特別選抜】 ⑯日本留学試験成績通知書（写）、TOEICテストのスコア票、TOEFL(iBT)スコアレポート又はIELTS公式成績証明書 （スコア票等の提出方法については※５～※７を参照願います。）	次の①～④のいずれかに該当する者は、学力試験「外国語」の筆記試験を免除することができます。免除希望者は、スコア票、スコアレポート又は公式認定証（**願書受付期間最終日から過去２年以内に受験したもので、出願期間内にスコア票（原本）を提出できるものに限る。**）を提出してください。 なお、外国語試験免除者の外国語の得点は、一律80点（満点は100点）となります。 ①TOEIC L&R（公開テスト、IPテストのいずれも可。ただし、IPテスト（オンライン）は不可。）700点以上 ②TOEFL(iBT)（2026年1月20日以前に実施された試験）72点以上 TOEFL(iBT)（2026年1月21日以降に実施された試験）Overall Score4以上 ③IELTSオーバーオール・バンド・スコア5.5以上 ④独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の日本語の得点（記述除く）が300点以上

※１ 提出された書類等に不備がある場合には、受理しません。また、受理後の出願書類等の変更・追加は認めません。

※２ 日本語及び英語以外の言語で作成された書類等には、日本語訳又は英訳を必ず添付してください。

※３ 出願書類等に虚偽の記載をした場合、記載すべき事項を記載しなかった場合または提出すべき書類を提出しなかったことが判明した場合は、出願書類等の受理後でも出願無資格者とし、さらに入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

※４ 出願時に提出される書類（特に出身大学の卒業証明書や成績証明書等）について、その他必要な書類をご提出頂く場合があります。また、必要に応じて発行元等に照会を行う場合があります。

※５ 公式なスコア票、スコアレポート又は成績証明書（[原本]１通と、そのコピー１通[Ａ４サイズでコピー・白黒でも可]）を提出してください。QRコードが記載されたスコア票等を提出する場合は、QRコードが読み取れる状態にしてご提出ください。なお、原本１通は、Ａ４サイズの透明なクリアファイルの中に入れて提出してください。原本は返送します。

※６ TOEIC L&Rスコア利用について、デジタル公式認定証のみを所持している場合、QRコードが読み取れる状態のPDFを2部印刷し、紙のスコアと同様に提出してください。

※７ TOEFL(iBT)スコアを利用する場合、以下の点に注意してください。

(A) ETS から直接、東京海洋大学大学に公式のスコアレポートが送付されるように手配してください。

（東京海洋大学の DI Code は G283、Department code は入力不要です。）

(B) ETSアカウントページから印刷したスコアレポートを上記に従って郵送で提出してください。

＊ 上記 (A) と (B) の両方が必要です。

＊ Test Date スコアを有効とし、My Best スコアは用いません。

※８ 記載された個人情報は、東京海洋大学において責任をもって管理します。

PROCESS 5	受験票等の印刷

受験票の印刷可能期間内にインターネット出願システムにログインして受験票を印刷し、必ず試験当日に持参してください。受験票は本学からは発送されませんので、各自で印刷してください。

受験票の印刷可能開始日時：

受験票の印刷可能開始日時	令和8年12月22日(火)15時頃

【受験票に関する注意事項】

・　受験票を印刷後、記載内容を必ず確認してください。受験日程等の案内も表示されますので、注意して読んでください。出願登録した内容と異なっている場合や印刷ができない場合は、入試に関する問合せ先（入試課入試第二係　TEL 03-5463-4265）に、令和８年１２月２４日（木）までに連絡してください。

・

・　インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではありません。試験当日は受付番号での受験はできませんので必ず受験票を持参してください。

・　試験当日にスマートフォン等で画面表示による受験票の提示は認めません。必ず印刷した受験票を持参してください。

インターネット出願では、マイページ登録、出願システムでの出願登録、検定料の支払いだけでは、出願は完了しません。出願に必要な書類が出願期間内に本学へ到着して、出願が受理されます。
インターネット利用や印刷の環境がない場合は、公共図書館のインターネットサービスを利用する等の対応により、出願してください。以上の対応によってもインターネット出願の利用が難しい場合は、入試に関する問合せ先（入試課入試第二係　TEL 03-5463-4265）に相談してください。

7. 入学者選抜

(1)一般選抜実施方法

入学者の選抜は、学力試験（筆記試験及び口頭試問）の最低基準を満たしている者の中から、学力試験結果、成績証明書及び入学定員等を考慮して総合的に行います。

専　攻　名	学　力　試　験			
	共通科目	専門科目	外国語	口頭試問
海洋生命資源科学専攻 食機能保全科学専攻 海洋資源環境学専攻 海洋管理政策学専攻 海洋システム工学専攻 海運ロジスティクス専攻 食品流通安全管理専攻	本冊子「専攻案内」に記載している、各専攻の出題範囲等を確認してください。	指導を希望する指導教員の専門科目 ※各専攻の指導教員一覧の専門科目を参考にしてください。	英 語	①卒業論文の研究内容又は業務実績等 ②志望理由書（研究計画を含む） ③表現力・勉学意欲

(2)外国人留学生特別選抜実施方法

入学者の選抜は、学力試験（筆記試験及び口頭試問）の最低基準を満たしている者の中から、学力試験結果、成績証明書及び入学定員等を考慮して総合的に行います。

また、「共通科目」及び「専門科目」は、試験に使用する言語を日本語と英語から選択することができます。《「外国語」の出題言語は、日本語だけです。》なお、共通科目及び専門科目で英語を試験に使用する言語で選択しても、一部の専攻では「口頭試問」を日本語で実施することがあります。

専　攻　名	学　力　試　験			
	共通科目	専門科目	外国語	口頭試問
海洋生命資源科学専攻 食機能保全科学専攻 海洋資源環境学専攻 海洋管理政策学専攻 海洋システム工学専攻 海運ロジスティクス専攻 食品流通安全管理専攻	本冊子「専攻案内」に記載している、各専攻の出題範囲等を確認してください。	指導を希望する指導教員の専門科目 ※各専攻の指導教員一覧の専門科目を参考にしてください。	「日本語」 または 「英語」	①卒業論文の研究内容又は業務実績等 ②志望理由書（研究計画を含む） ③表現力・勉学意欲

(3)社会人特別選抜実施方法

入学者の選抜は、学力試験（小論文及び口頭試問）の最低基準を満たしている者の中から、学力試験結果、成績証明書及び入学定員等を考慮して総合的に行います。

また、「小論文」試験に使用する言語を日本語と英語から選択することができます。なお、「口頭試問」は、小論文で英語を試験に使用する言語に選択しても、一部の専攻では日本語で実施することがあります。

専　攻　名		学　力　試　験	
		小論文	口頭試問
海洋生命資源科学専攻 食機能保全科学専攻 海洋資源環境学専攻 海洋管理政策学専攻 海洋システム工学専攻 海運ロジスティクス専攻		指導を希望する指導教員の専門科目に関すること。	①卒業論文の研究内容又は業務実績等 ②志望理由書（研究計画を含む） ③表現力・勉学意欲
食品流通安全管理専攻	特別選抜－A		
	特別選抜－B		

※東京海洋大学では、企業等に在職したまま大学院に入学を希望する社会人に対して、入学後も社会人が学びやすいように大学院設置基準第１４条の規定による教育方法の特例として昼夜開講制度を実施して社会人を積極的に受け入れます。なお、昼夜開講制度を希望する方は事前に入試課へご連絡ください。

※入試日程や実施方法については、変更される可能性があります。ホームページで最新の情報をご確認ください。

8. 試験日程

区　分	学　力　試　験				試験場所
	共通科目	専門科目	外国語	口頭試問	
一般選抜 外国人留学生 特別選抜	2月2日(火) 10時～11時30分	2月2日(火) 13時～14時30分	2月3日(水) 10時～11時30分	2月3日(水) 13時～	品川キャンパス

区　分	学　力　試　験		試験場所
	小論文	口頭試問	
社会人特別選抜 社会人特別選抜－A	2月3日(水) 10時～11時30分	2月3日(水) 13時～	品川キャンパス
社会人特別選抜－B			

※　試験場所及び集合時間等の詳細については受験票印刷時に確認してください。

【一般選抜特別日程（海洋科学専攻科生及び海洋工学部乗船実習履修者のみ対象）】

区　分	学　力　試　験				試験場所
	共通科目	専門科目	外国語	口頭試問	
一般選抜	3月15日(月) 9時～ 10時30分	3月15日(月) 10時45分～ 12時15分	3月15日(月) 13時15分～ 14時45分	3月15日(月) 15時～	品川キャンパス 又は 越中島キャンパス

※ 一般選抜特別日程の受験を希望する海洋科学専攻科生及び海洋工学部乗船実習履修者は、PROCESS2(2)出願登録の際に「特別日程希望」欄で「特別日程希望あり」を選んでください。

※ 試験場所及び集合時間等の詳細については受験票印刷時に確認してください。

9. 不 正 行 為 の 取 扱 い

次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての試験の成績を無効とします。
なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

(1) 入学志願票、受験票へ故意に虚偽の入力（インターネット出願登録の際に受験者本人以外の写真データを取り込むことなど。）又は解答用紙へ故意に虚偽の記入（解答用紙に本人以外の名前･受験番号を記入するなど。）をすること。
(2) カンニング（カンニングペーパー･参考書･他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
(3) 他の受験者に答えを教えることやカンニングの手助けをすること。
(4) 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
(5) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
(6) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開くことや解答を始めること。
(7) 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気･負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請（「4. 障害等のある入学志願者との事前相談について」を参照）が必要です）。
(8) 試験時間中に使用を許可された場合を除き、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
(9) 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていることや解答を続けること。

上記（1）～（9）以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記（1）～（9）と同様です。

(10) 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類や使用を許可された場合を除き定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていることや手に持っていること。
※通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末等）は、試験時間中は電源が切られていても、かばんの中にしまっていなければ、使用しているものとして、不正行為となる。
衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとして、不正行為となる。
(11) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信･アラーム･振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
(12) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。
(13) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
(14) 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
(15) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

10. 合格発表

合格者の発表は、以下の日時に合格者の受験番号を本学ホームページ上に掲載します。また、本人あてに合格通知書及び入学手続きに必要な書類を送付します。

・一般選抜特別日程以外の志願者　→　令和９年３月４日（木）１０時頃
・一般選抜特別日程の志願者　→　令和９年３月１８日（木）１０時頃

東京海洋大学URL： https://www.kaiyodai.ac.jp/　（電話その他による問い合わせには一切応じません。）

※事務処理の都合上、合格通知書に記載される氏名の漢字を一部他のものに置き換える場合がありますので、ご了承ください。

11. 入学手続

入学手続の期間は、令和９年３月８日（月）から３月１６日（火）までです。

インターネット出願サイトの「入学手続きシステム」から本人情報の登録及び入学料の支払いをした後に、必要書類の提出（郵送）をすることで完了します。必要書類の提出は、令和９年３月１６日（火）１７時必着です。

入学手続の詳細については、合格通知書と共に送付します。

※ただし、令和９年１０月入学に合格した方は、令和９年９月に入学手続を行います。
なお、詳細は合格通知書と共に送付します。

※一般選抜特別日程で合格された方の入学手続の期間は令和９年３月１９日（金）までになります。
必要書類の提出（窓口持参）も、令和９年３月１９日（金）１７時までです。

※入学手続完了者が事情により入学を辞退した場合でも、入学料の返還はできません。

12. 入学に要する経費（予定）

入学料　282，000円
授業料　年額535，800円（前期分　267，900円　後期分　267，900円）
その他　学生教育研究災害傷害保険費、テキスト代、実習費等（金額は専攻により異なる）
※　入学時及び在学中に入学に要する経費の改定を行った場合は、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます

13. 情報提供

本学大学院の入試に関する志願者数及び合格者数等の情報は、ホームページ上で公表いたします。（令和９年４月上旬以降の予定）

14. 交通の案内

本学への交通機関は、最終ページの「交通の案内」を参照してください。

15. 注意事項

(1) 出願書類は一切返却しません。
(2) **出願にあたっては、あらかじめ指導を希望する教員と研究内容や出願について相談してください。**
(3) 入学志願票等の出願書類が記載事項不備の場合は受け付けませんので、記入もれがないようにしてください。
(4) 入学後に出願書類等に虚偽の申請や不正等が発覚した場合、入学許可を取り消すことがあります。
(5) 他の大学等（大学院、短期大学、高等専門学校を含む。）との二重在籍は認めません。二重在籍の事実が判明した場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。
(6) 学力試験は全ての試験科目を受験してください。（外国語試験免除を受けた者は除く。）
１科目でも受験しなかった場合、それ以降の科目は受験できません。

16. 教育研究上の目的

本学大学院では、以下のとおり教育研究上の目的を定めています。

東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科における教育研究上の目的に関する規則（抜粋）

（目的）

第１条　この規則は、東京海洋大学大学院学則（平成 16 年海洋大規第 101 号）第４条第２項の規定に基づき、東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科（以下「研究科」という。）の各専攻における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を明確にするために定める。

（教育研究上の目的）

第２条　研究科においては，海洋とその可能性に興味と関心を持ち，海洋に関する学術の理論及び応用を探求し，先端領域を切り拓く高度の専門能力と独創性，及び国際的に活躍できる豊かな教養と倫理性を併せ持つ高度専門職業人や研究者を養成するとともに，海洋分野の諸課題に係わる基礎から応用に至るまでの高度な研究を行うことにより，直面する諸課題の解決を図ることで，人類社会の発展に寄与することを教育研究上の目的とする。

２　各専攻の教育研究上の目的については，次の表に掲げるとおりとする。

課程	専攻名	教育研究上の目的
博士前期課程	海洋生命資源科学専攻	海洋生物の生理・生態について，生命科学と資源生物学を基盤として解明し，食料や産業資源としての海洋生物の管理と保全，収獲システムや増養殖生産，環境修復や有益環境の創出等，海洋生物の持続的生産と利用のための適正な生産・管理システムに関する基礎・応用・学際的な教育研究を行う。
	食機能保全科学専攻	人の健康増進及び恒常性の維持並びに食資源の有効利用・ロス削減に貢献するため，水産食品を中心に原料から消費に至るまで，食品の安全性・健全性の確保・向上，加工法，品質の維持及び流通に関する学理の教育研究を行うとともに，食品の機能性向上に関する学理及び先端技術の教育研究を行う。
	海洋資源環境学専攻	海洋環境を保全しつつ，資源を持続的に利用するため，海洋の成り立ちと保全，海洋生物と環境との関わり，海洋・海底資源及びエネルギーの開発と利用に係わる諸課題について，理学的及び工学的な視点からその先端的な学理と応用技術に関する教育研究を行う。
	海洋管理政策学専攻	海洋に関する総合的知識を持ち，長期的・多角的視野に立って海洋政策を立案する高度専門職業人の育成を行う。そのために，自然科学・社会科学・人文科学を融合した教育を行うとともに，ケースメソッド，フィールド実習等による実践的な教育研究を行う。
	海洋システム工学専攻	海洋人工物と海洋環境の調和という観点に立ち，海洋観測・調査・作業機器や船舶・機械構造物等を，機械工学・システム工学・環境工学・安全工学を核とした開発・設計・構築又は新規製作技術開発など，総合工学的なアプローチにより高度に発展させるための教育研究を行う。
	海運ロジスティクス専攻	国際海運の基幹である船舶の安全運航と輸送の効率化，海洋環境保全及び海洋開発技術の発展等，並びに商品の流れを生産から消費までの過程で捉えたロジスティクスの社会工学的視点，経営・経済的視点からの分析による計画設計，運用管理及び政策に関する教育研究を行う。
	食品流通安全管理専攻	フードサプライチェーン全体において，HACCPの考え方に基づく食品安全マネジメントシステムを構築し，食品の安全管理に重点を置いた経営を実現するため，制御技術，コミュニケーション，組織運営などに関する技術開発，運用管理，対応策立案に関する教育研究を行う。

17. 安全保障貿易管理

東京海洋大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人東京海洋大学 安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れについては厳格な審査を実施しています。指導を受けたい教育研究内容等が規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合がありますので、願書の提出の前に必ず指導予定教員に相談し、出願にあたっては注意してください。

なお、安全保障貿易管理の詳しい内容は経済産業省ホームページの「安全保障貿易管理」を参照してください。

https://www.meti.go.jp/policy/anpo/

18. 入学者選抜に用いた個人情報の取扱いについて

①出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、(1)入学者選抜（出願処理、選抜実施)、(2)合格発表、(3)入学手続、(4)入学者選抜方法等における調査・研究、分析及び(5)これらに付随する業務を行うために利用します。

②各種業務での利用に当たっては一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という）において行うことがあります。 業務委託に当たり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部を提供します。

③出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、合格者のみ入学手続関係（入学料、授業料等）、教務関係（学籍データ等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）に関する業務を行うために利用します。

また、入学準備資料送付のため、合格者の出願時の住所、氏名及び電話番号を東京海洋大学生協へ提供します。この個人情報は、入学準備資料の送付のみに使用されます。

19. その他

●入学料免除制度・授業料免除制度

本学では、大学院生に対する支援として、本学免除基準による入学料免除、授業料免除を実施します。

※国からの予算額の減少により、減免金額が減少する可能性があります。

※減免金額は、判定時の家計状況により審査の上、決定します。

４月より申請を受け付けますので、希望される方は忘れずに申請してください。

詳細は大学ホームページに掲載する授業料等免除の情報を確認してください。

●奨学金制度

奨学金制度のほとんどが学業成績が優秀で、かつ経済的な理由により修学が困難である者を対象としています。主な団体は下記のとおりです。

- 独立行政法人日本学生支援機構　　https://www.jasso.go.jp/
- 地方公共団体
- その他の民間奨学団体

●学生寮の概要

(1) 目的

東京海洋大学学生寮は、本学の学生に生活と勉学の場を提供し、もって修学上の便宜を図ることを目的として設置された居住施設です。

(2) 管理運営

学生寮の管理運営は、東京海洋大学青鷹寮規則および東京海洋大学海王寮規則に基づいて行います。なお、学生寮に関する事務は学生サービス課学生生活係が担当しています。

(3) 名称・定員・所在地

名　　称	青鷹寮（せいようりょう） （品川キャンパス）	海王寮(かいおうりょう) （越中島キャンパス）
居　　室	352室　【個室（洋室）】 （研究者用、留学生用居室含む）	334名　【準個室（洋室）】 （1室を2部屋に区切り2人で使用）
面　　積	男子・女子（日本人学生用） 単身A室（32室）　約9㎡/居室 単身B室（186室）　約13㎡/居室	男子寮（129室）：約12.5～約18㎡ 女子寮（38室）：約12.5㎡
所 在 地	〒108-0075東京都港区港南4-5-34 （品川キャンパス内）	〒135-0044東京都江東区越中島2-2-8 （越中島キャンパス内）

(4) お問合せ先

東京海洋大学学生サービス課学生生活係　電話：03-5463-0433

(5) 入寮募集要項

入寮募集要項は、下記ＵＲＬ→入寮募集要項に掲載します。

入寮募集要項の公開時期は、下記ＵＲＬ→学生寮募集日程に掲載の各入寮年度の学生寮募集日程を確認してください。

学生寮関係URL：https://www.kaiyodai.ac.jp/campuslife/dormitory/

※外国人留学生対象の入居者募集について

外国人留学生対象の宿舎については、空室がある場合に大学ホームページで入居者募集を行っています。

TOP ページ（https://www.kaiyodai.ac.jp/）→在学生の方→ 在学する留学生向け情報 → 宿舎募集情報

（またはhttps://www.kaiyodai.ac.jp/international/foreignstudents/#anchor4）

●在学期間の短縮

本学大学院博士前期課程では、優れた業績を上げた者について、当該課程に１年以上の在学期間があれば早期に修了できる制度があります。

●長期履修制度

本学大学院博士前期課程では、職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士前期課程は２年）を超えて、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することが出来る「長期履修制度」を設けています。

(1)「長期履修制度」は社会人特別選抜での学生に限定していませんので、条件に該当していれば他の選抜区分の学生も対象となります。（ただし、外国人留学生の場合、「留学」の在留資格取得・更新に影響を生じる場合があります。）

(2) 申請期限は入学手続日を予定しています。

(3) 申請に必要な書類は指導（予定）教員から受け取り、修了の見通しについて指導（予定）教員と充分な打合せをしてください。

(4) 詳細は学務部教務課大学院係（TEL:03-5463-0395　E-mail: k-dai@o.kaiyodai.ac.jp）までお問合わせください。

●学位

本学大学院博士前期課程において当該課程に２年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験（海洋AI・データサイエンス学位プログラムの学生は、修士論文・最終試験に代えて博士論文研究基礎力審査）に合格した者は、修士（海洋科学又は工学）の学位が授与されます。

●コース・プログラム等

【海洋AI・データサイエンス学位プログラム】 博士前期・後期課程一貫、全専攻共通

本学では、ビッグデータ解析や機械学習法をリテラシーとして身につけ、本学が有する海洋、海事、水産の専門知識とフィールドに関する豊富な経験を元に、的確に人工知能を用い、その社会実装を主導するイノベータ・高度専門技術者や海洋政策の立案を行う人材である「海洋産業ＡＩプロフェッショナル」を育成する卓越した博士人材の育成を行う５年一貫教育プログラムで、博士前期課程2020年度入学者から学生の受け入れを行い、2024年４月から、海洋AI・データサイエンス学位プログラムとして運営しています。

各専攻の入学者選抜試験合格者を対象に志願者を募集し、選抜を行います。具体的な出願手続き、選抜日程については、「海洋AI・データサイエンス学位プログラム」ホームページに掲載します。

https://www.g2.kaiyodai.ac.jp/marine-ai

【海洋AIコアコース】 博士前期課程全専攻

海洋関連産業界では、海洋、海事、水産の各分野におけるAIの社会実装の基礎を学んだ人材の育成が求められており、海洋AI・データサイエンス学位プログラム後期課程に進学する優秀な学生の確保、プログラム編入学の促進並びに学部のデータサイエンス教育に関する大学院への円滑な接続を図るための専門コースを2023年度から新たに博士前期課程に開設しています。

本コースの対象となるのは、博士前期課程在籍学生とし、修了要件を満たすことにより、海洋AIコアコース修了者として認定し、修了証を授与します。

【OQEANOUS Plus（オケアヌスプラス）プログラム】博士前期課程全専攻

OQEANOUS Plusプログラムは、日中韓の海洋系３大学（東京海洋大学、上海海洋大学、韓国海洋大学校）及びASEAN諸国の４大学（チュラロンコン大学、カセサート大学（以上タイ）、マラヤ大学（マレーシア）、ボゴール農科大学（インドネシア））が一体となった国際協働教育プログラムです。持続可能な海洋開発・利用の分野において、相互理解を深める学生の双方向教育と問題解決の高度な専門能力を付与するための大学院レベルでの質的保証を伴った単位互換制度を実現し、７大学間における学生相互派遣事業を展開しています。

オンライン学生交流会（OEP）、オンラインと渡航のハイブリッド形式で行うサマースクール（STP）、1セメスターの単位互換留学（IJP）および2セメスターのダブルディグリープログラム（DDP）の4つのプログラムを実施しています。

また、日本にいながら多国籍な共修環境で学ぶことができる「持続可能なブルーエコノミーに携わる高度専門職業人育成コース」（通称：OQEANOUS Plus Certificate Program）もあります。コース修了のためには、指定のカリキュラムを受講する必要があります（博士前期課程の修了要件に算入することも可能）。本コースは、2025年度まで実施していた「海洋環境・エネルギー専門職育成国際コース」（通称：日中韓プログラム）を引き継いだものです。

詳細はホームページを確認してください。

https://www.g2.kaiyodai.ac.jp/oqeanous/

【METIS（メティス）プログラム】博士前期課程全専攻

日・北欧連携国際協働教育「海洋の未来を創造する高度専門技術者」養成プログラム（METIS）プログラムでは、北欧の6大学（南デンマーク大学、デンマーク工科大学（以上デンマーク）、ノルウェー科学技術大学、ノルウェー北極大学、スタバンゲル大学及びノード大学（以上ノルウェー））と連携し、博士前期課程学生を対象とした、留学プログラムを実施しています。7大学の合同授業を1週間程度オンラインで体験し、留学に必要な語学力や文化の相違を経験するなど留学前の準備につなげる「アクティブラーニング分野横断型・オンライン合同授業(ALC)」、1～2セメスターの「単位互換を伴う交換留学（CTEX)）および研究プロジェクト型・就業体験型インターンシップ」を実施しています。詳細はホームページを確認してください。

https://www.g2.kaiyodai.ac.jp/metis/

【HACCP管理者コース及び食品流通ロジスティクス実務家養成コース】 博士前期課程全専攻

近年、消費者の食品安全への意識の高まりにより、食品の安全はフードサプライチェーン全体で取り組むべき課題となっています。なかでも、食品製造業では、HACCP方式の衛生管理は不可欠となっています。またこうした生産現場だけでなく流通段階におけるロジスティクスの高度化・効率化もまた企業競争力強化の重要な経営課題となってきています。そこで2008年度からHACCP管理者コース及び食品流通ロジスティクス実務家養成コースの２つの認定コースを開設しています。指定の科目を修得し博士前期課程を修了した者には、本コースの修了認定を授与します。

【広域履修コース】 海洋生命資源科学専攻、食機能保全科学専攻、食品流通安全管理専攻

大学院教育改革支援プログラムの一環として、幅広い視野を持った人材育成のため、海洋生命資源科学専攻、食機能保全科学専攻、ならびに実務対応型教育を目指す食品流通安全管理専攻が協同して、「研究・実務融合による食の高度職業人養成」プログラムを立ち上げ、広域履修コースを設定しています。指定の科目を修得し博士前期課程を修了した者には、本コースの修了認定を授与します。

【高度海上技術者専門プログラム】 海洋システム工学専攻、海運ロジスティクス専攻

海運・海事産業においては、近年、舶用機器の高度化や船舶管理業務の国際化が以前にも増して進み、それらに対応するための高度な専門技術と海技知識を有し、かつ、海上経験があり海技免状を有する人材が切望されています。これらの人材は今後、海運・海事産業とそれをとりまく産業を含めた海事クラスターにおいて中核をなすと考えられ、その活躍の場は多岐に渡ると予想されています。

大学院海洋科学技術研究科海洋システム工学専攻、海運ロジスティクス専攻の２専攻では、この社会的なニーズに応えるために海運・海事産業・造船・船舶管理を中心とする産業分野において幹部候補として活躍出来る高度専門技術者の養成を目的とした新たな専門プログラムを2012年度から開設しています。本プログラムは、三級海技士（航海または機関）資格を有する者、もしくは取得見込みの者を対象とし、指定の科目を全て修得した者には、プログラムの修了認定を行います。

【アジア海事大学連携によるサステナブル社会実現に資する人材育成】海洋システム工学専攻、海運ロジスティクス専攻

我が国唯一の海洋系教育研究拠点として、「サステナブル社会」をキーワードに、グローバルな視点からインフラの構築・維持・整備に対応できる人材を育成するため、工学的かつ総合的な教育研究指導を行うプログラムである。私費外国人留学生、日本人学生の参加が可能です。本プログラム参加者は、大学院研究科長裁量経費（学生渡航支援等経費）、リサーチアシスタント（RA）の選考において優先されます。また、本プログラムに参加する私費外国人留学生は、学内宿舎の選考において優先（必ず入居できるわけではありません。）されます。

詳細はホームページを確認してください。

https://www.kaiyodai.ac.jp/international/

【職業実践力育成プログラム(BP)】 食品流通安全管理専攻

職業実践力育成プログラム（BP）とは、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的かつ専門的なプログラムを認定し、厚生労働省の教育訓練給付制度とも連携して社会人の学び直しの推進を図るために2015年度から文部科学省が設けたものです。

2019年度入学者から、食品産業とその関連産業において、衛生管理や品質管理等の安全管理業務に従事する技能職といった社会人の方々を想定し、食品流通における安全と安心にかかわる諸問題・諸制度等についての実践的な教育を通して、企業の問題解決や政策提案を行う高度の専門職能を持つ職業人を育成することを目的としたプログラムとして、食品流通安全管理専攻の教育プログラム全体がBPに認定されています。

2020年度入学者から、本専攻の職業実践力育成プログラム（BP）が厚生労働省の教育訓練給付金の支給を受けられる専門実践教育訓練の指定講座となりました。雇用保険の被保険者であるなど、受給資格を満たす方で教育訓練給付金の受給を検討されている方は、入学前にハローワークで手続きを行ってください。詳細は教務課大学院係（TEL:03-5463-0395　E-mail: k-dai@o.kaiyodai.ac.jp）までお問合せください。

【国際規格ISO 22000(食品安全マネジメントシステム)の審査員資格取得】食品流通安全管理専攻

IRCAに認定された研修コース（ISO 22000:2018主任審査員トレーニングコース）を開設しています。資格取得のためには、本コースの履修合格等、IRCAの条件を満たすことが必要です。資格取得後は、食品安全の専門家として活躍することが期待されます。

専　攻　案　内

1．アドミッションポリシー

2．試験日程

3．共通科目名（及び出題範囲）

4．専攻概要

5．専門科目名及び指導教員一覧

●海洋生命資源科学専攻

1　アドミッションポリシー

＜受け入れる学生に求める関心・意欲＞

海洋生物に特異な生命活動の仕組みの解明やその特徴を活用した研究に興味があり、その成果を海洋生物資源の保全と持続的利用に応用することに意欲をもって取り組み、自立して研究を進める能力のある学生を求めます。

2　試験日程※特別日程（試験日３月１５日（月）を希望する者は２４ページ「８．試験日程」を参照

選抜区分	試験区分		試験日	試験場所
一　般　選　抜 外国人留学生特別選抜	学力試験	共通科目	２月２日(火)１０時～１１時３０分	品川キャンパス
		専門科目	２月２日(火)１３時～１４時３０分	
		外 国 語	２月３日(水)１０時～１１時３０分	
		口頭試問	２月３日(水)１３時～	
社会人特別選抜	学力試験	小 論 文	２月３日(水)１０時～１１時３０分	品川キャンパス
		口頭試問	２月３日(水)１３時～	

3　共通科目名及び出題範囲

共通科目名：海洋生命資源科学

出題範囲：下記分野から英語専門用語の理解なども含めて総合的に出題し、専攻の基礎となる知識を問います。

・水圏生物科学分野　・生物資源学分野　・海洋生物工学分野

4　専攻概要（専攻ホームページ　https://www.kaiyodai.ac.jp/faculty/graduate/main/#page1 ）

専　攻　名	専攻分野名	主な授業科目名
海洋生命資源科学専攻 海洋生物の生理・生態を基礎として、それら生物が海洋で生活できる特殊な仕組みの解明やその特徴を活用した生物資源の管理と修復保全、収穫システムや増養殖生産、環境計測や有益環境の創出等、生物生産に係わる総合的な高度利用に関する学理と技術を教育研究します。 研究・実務の融合による高度専門職業人の育成を目指した「広域履修コース」も開設しています。	**水圏生物科学** 海洋生物の生命現象の解明とその生命システムなどの理解を通じて、絶滅危惧種の増産も可能にする「借腹」種苗生産技術の開発、環境共存型養殖のための飼料開発，完全循環型の養殖工場の設立、海藻の特性や機能の有効利用とその応用による有益な海洋環境の創出を目指す技術開発、分子育種や分子疫学による生物生産の安定化技術開発、極限環境に生息する生物の特性利用技術開発、生物機能を利用した環境計測や修復技術の開発等を行い、生物生産の高度利用への応用が可能な教育研究を行います。	水族発生工学 水族感染症学 水族培養細胞学 水族分子遺伝学 魚類栄養学 水族飼料学 水圏養殖学 応用藻類特性学 水圏生物科学特別演習 水圏生物科学特別研究
	（連携講座）	魚類生殖生理学Ⅰ・Ⅱ
	生物資源学 海洋生物の個体群ダイナミクスや集団遺伝、資源培養、行動・成長・生残・回遊等の生態特性および漁獲過程等の学理を基礎として、環境と調和した海洋生物資源の持続的利用と生物多様性の維持保全に関する分野を対象とします。具体的には、種の分化や系統進化、資源の系群構造の解明と増殖保全、栽培漁業や漁業・遊漁の影響評価、生態系や地球環境と資源変動との関連、混獲防除や選択漁獲といった合理的な漁獲技術の開発を通じて，資源開発と管理システムを構築し、生物資源と人間の共生へ応用するための教育研究を行います。	保全生態学 集団維持学 増殖生態学 資源保全学 魚群制御学 漁業解析学 生産システム工学 乗船漁業調査特別実習 生物資源学特別演習 生物資源学特別研究
	（連携講座）	資源動態学Ⅰ 資源動態学Ⅱ 初期生態学 水産資源生態学 深海生物学Ⅰ・Ⅱ
	海洋生物工学 海洋には水産生物だけではなく、鉱物などの多様な海底資源が存在します。これら資源の有効利用を可能にするためには、水産学と工学とが融合したバイオエンジニアリングやバイオテクノロジーの先端的技術について、基礎から応用までを幅広く理解することが必要です。当分野では漁場環境の保全ならびに食品として安全な水産物を生産し流通するための養殖管理技術、魚介類有用遺伝子の機能解析とその応用に関するゲノムサイエンス、有用微生物の探索およびそれらの機能解析や応用などについて教育研究します。また、生物を利用した海洋のエネルギーや鉱物資源開発などについての応用研究も目指します。	遺伝生化学 魚介類ゲノム科学 分子環境毒性学 水族病態生理学 微生物工学 微生物化学 海洋生物工学特別演習 海洋生物工学特別研究
	（連携講座）	水産生物細胞機能学 水産生物分子機能学
	分野共通	海洋生命科学基礎論Ⅰ・Ⅱ

５　専門科目名及び指導教員一覧

海洋生命資源科学専攻
*の付いている指導教員については、募集の有無について未確定ですので、当該教員に直接お問い合わせください。

専攻分野名	専門科目名	指導教員名			連絡先ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ (～@kaiyodai.ac.jp)
水圏生物科学	水族発生工学	教授		吉崎 悟朗	goro
		教授		矢澤 良輔	ryazawa
		准教授		森田 哲朗	tmorit0
		准教授		林 誠	mhay001
	水族病理学	教授		加藤 豪司	gkato00
	水族分子遺伝学	教授		坂本 崇	takashis
		准教授		川戸 智	skaw002
	水族栄養学	教授		芳賀 穣	haga
		准教授		壁谷 尚樹	naoki.kabeya
	水族養殖学	教授		坂本 崇	takashis
		准教授		遠藤 雅人	asteroid
		准教授		川戸 智	skaw002
	応用藻類学	教授		二羽 恭介	kniwa00
		助教		堀之内 祐介	yhor001
(連携講座)	魚類生殖生理学	教授		今村 伸太朗	(連絡先) 佐野元彦教授 msano00
		教授		尾﨑 雄一	
		准教授		入路 光雄	
生物資源学	応用保全生物学	准教授		山本 洋嗣	yyamam0
	集団生物学	教授		横田 賢史	yokota
	増殖生態学	教授		團 重樹	sdan
	漁法開発学	教授		秋山 清二	akiyama
	漁業解析学	教授		塩出 大輔	shiode
	生産システム工学	准教授		董 書闖	sdong
	資源動態・管理学	教授		北門 利英	kitakado
(連携講座)	資源動態学Ⅰ	教授		米崎 史郎	(連絡先) 塩出大輔教授
		准教授		竹村 紫苑	
(連携講座)	資源動態学Ⅱ	教授		堀 正和	
(連携講座)	初期生態学	教授		佐々 千由紀	
(連携講座)	比較生態学			(未定)	
(連携講座)	深海生物学	教授		藤原 義弘	(連絡先) 横田賢史教授
		教授		吉田 尊雄	
		准教授		生田 哲朗	
		准教授		土田 真二	
海洋生物工学	魚介類ゲノム科学	教授	＊	廣野 育生	hirono
		教授		近藤 秀裕	h-kondo
		准教授		小祝 敬一郎	koiwai
	水族病態生理学	准教授		二見 邦彦	futami
	微生物化学	准教授		寺原 猛	terahara
	微生物工学	教授		小林 武志	takeshik
(連携講座)	水産生物細胞機能学	教授		山下 倫明	(連絡先) 廣野育生教授
(連携講座)	水産生物分子機能学	教授		長井　敏	
		教授		安池 元重	

●食機能保全科学専攻

1　アドミッションポリシー

＜受け入れる学生に求める関心・意欲＞

食機能保全科学が守備領域とする食品の安全性の確保と向上、食品の栄養・保健機能の解明および食品品質の最適制御などに関して興味を持ち、それらの実現のための課題を自ら発見し解決する能力の取得に意欲がある学生を求めます。

2　試験日程※特別日程（試験日３月１５日（月）を希望する者は２４ページ「８．試験日程」を参照

選抜区分	試験区分		試験日	試験場所
一　般　選　抜 外国人留学生特別選抜	学力試験	共通科目	２月２日(火)１０時～１１時３０分	品川キャンパス
		専門科目	２月２日(火)１３時～１４時３０分	
		外 国 語	２月３日(水)１０時～１１時３０分	
		口頭試問	２月３日(水)１３時～	
社会人特別選抜	学力試験	小 論 文	２月３日(水)１０時～１１時３０分	品川キャンパス
		口頭試問	２月３日(水)１３時～	

3　共通科目名及び出題範囲

共通科目名：食機能保全科学

出題範囲：下記の4科目の基礎的な理解（以下に示した例のほか、それらの関連事項について数行程度で説明できるレベル）を問います。

・食品化学　　：魚肉のタンパク質、魚肉の脂質、水産物のエキス成分と味、水産物のATP関連物質と鮮度、水産物の魚臭成分と鮮度、水産物の色素成分、三大栄養素と生理的熱量、ビタミンCの栄養機能

・食品微生物学：グラム陽性菌と陰性菌、酸と微生物増殖、感染型食中毒細菌と毒素型食中毒細菌、16S rRNA遺伝子、ボツリヌス菌、カンピロバクター、病原性大腸菌、ノロウイルス、サルモネラ属菌

・食品工学　　：熱伝導率と熱伝達率、放射伝熱、潜熱と顕熱、熱伝導とフーリエの法則、ベルヌーイの定理、ニュートンの粘性法則、層流と乱流、加熱殺菌のF値

・食品物理化学：単分子層吸着、ゲル化、エマルションの安定性、自由エネルギーと化学ポテンシャル、自由エネルギーと相転移、エントロピーと疎水性相互作用、フィックの拡散の第一法則、アレニウスの式

4　専攻概要（専攻ホームページ　https://www.kaiyodai.ac.jp/faculty/graduate/main/#page2）

専　攻　名	専攻分野名	主な授業科目名
食機能保全科学専攻 水産食品を中心とする各種食品の製造･貯蔵･流通･消費などに関する諸原理と先端技術を教育研究します。特に、人の健康増進および恒常性の維持を視野において、原料から消費に至るまでの食品の安全性･健全性の確保と向上および食品の機能性向上について、それらを支える化学的･微生物学的･物理学的･工学的な視点から、また、学際的な技術の開発などについてそのデザイン能力と遂行能力を総合的に教育研究します。 研究・実務の融合による食の高度職業人養成を目指した「広域履修コース」も開設しています。	**食品保全機能学** 水産食品を中心とする各種食品について、安全性・健全性の確保・向上および機能性開発を目指して化学的・微生物学的視点からアプローチします。具体的には、食品の一次機能（栄養）および二次機能（味、色、香り、物性）にかかわる因子の特性、食品の持つ三次機能（生体調節）因子の探索と特定、食品の製造・貯蔵・流通・消費などにおける化学的・微生物学的安全性と品質保持などに関する諸問題とこれらを支える先端技術などについて総合的に教育研究を行います。	食品物性学 高分子溶液論 食品栄養機能学 食品微生物学 食品危害微生物制御学 食品保全機能化学 食品危害物質化学 食品有害因子論 生物資源化学 生体物質解析学 予防食品薬理学 食品保全機能学特別演習 食品保全機能学特別研究
	食品品質設計学 安全かつ付加価値の高い食品（主として水産食品）の製造プロセスを具体化するための食品設計技術の開発や製造プロセスにおける安全性評価システムの確立を目指して、主として工学的視点からアプローチします。具体的には、原料や原料中の諸成分の加工特性の理解を通じて、原料から消費に至るまでの安全性にかかわるプロセスの高精度な定量的解析、先端食品製造装置・システムの開発設計と操作特性、水産食品の低温利用に関する原理と先端技術などについて総合的に教育研究を行います。	食品熱物質移動論 食品熱工学 食品プロセス工学 食品システム分析学 食品低温物性科学 食品冷凍工学 食品加工原料論 食品加工技術論 食品品質設計学特別演習 食品品質設計学特別研究
	分野共通	食機能保全科学基礎論Ⅰ 食機能保全科学基礎論Ⅱ

５　専門科目名及び指導教員一覧

食機能保全科学専攻

*の付いている指導教員については、募集の有無について未確定ですので、当該教員に直接お問い合わせください。

専攻分野名	専門科目名	指導教員名			連絡先ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ (～@kaiyodai.ac.jp)
食品保全機能学	食品物性学	准教授		髙橋 希元	kigen
	食品生体機能学	准教授		小山 智之	tskoyama
	食品微生物学	教授		久田 孝	kuda
	食品危害微生物制御学	教授		高橋 肇	hajime
		助教		中村 綾花	anak001
	食品保全機能化学	教授	*	後藤 直宏	ngotoh
		助教		田中 誠也	stanak0
	食品衛生化学	教授	*	黒瀬 光一	kkuros0
		助教		小山 寛喜	hkoyam1
	水圏生物資源利用学	教授	*	石崎 松一郎	ishizak
食品品質設計学	食品熱操作工学	教授	*	福岡 美香	fukuoka
		准教授		ラベ ペレス イヴァン アントニオ	pllave1
	食品プロセス工学	教授		萩原 知明	tomoaki
		准教授		柴田 真理朗	mshiba0
	食品冷凍学	教授		渡邊 学	mwat
		助教		レド マーク アンソニー ボリヴァ	mredo00
	食品加工学	教授		大迫 一史	osako
		准教授		耿 婕婷	jgeng00
	食品品質管理学	教授		松本 隆志	tmatsu55

●海洋資源環境学専攻

1　アドミッションポリシー

＜受け入れる学生に求める関心・意欲＞

海洋資源環境学専攻は、海洋の環境とその保全、海洋生物と環境との関わり、海洋資源およびエネルギーの応用的開発や持続的利用に係る諸課題に関心を持ち、幅広い知識と技術を修得して、課題解決の方法を積極的に探求する意欲を持つ学生を求めます。

2　試験日程※特別日程（試験日３月１５日（月）を希望する者は２４ページ「８．試験日程」を参照

選抜区分	試験区分		試験日	試験場所
一　般　選　抜 外国人留学生特別選抜	学力試験	共通科目	２月２日(火)１０時～１１時３０分	品川キャンパス
		専門科目	２月２日(火)１３時～１４時３０分	
		外 国 語	２月３日(水)１０時～１１時３０分	
		口頭試問	２月３日(水)１３時～	
社会人特別選抜	学力試験	小 論 文	２月３日(水)１０時～１１時３０分	品川キャンパス
		口頭試問	２月３日(水)１３時～	

3　共通科目名及び出題範囲

共通科目名：海洋資源環境学

出題範囲：海洋資源環境学専攻の基礎となる下の５つの科目から３つの科目を試験当日に選択する。各科目の（ ）内のキーワードおよびその関連領域について記述式により解答を求めます。キーワードによっては数式を含む解答を求めます。

・数学（偏微分、テイラー展開、重積分、２変数関数の極値、ベクトルの内積と外積、逆行列、行列と連立１次方程式、行列式、ロジスティック方程式）

・物理学（単位と次元、運動の法則、粘性抵抗と慣性抵抗、減衰振動、エネルギーの保存、角運動量の保存、慣性モーメント、音波の特性、電磁波の特性）

・化学（酸の定義、双極子モーメントと分子の構造、ギブスエネルギー変化、化学的酸素要求量、クロマトグラフィー、IUPAC命名法、求電子置換反応、単糖・二糖・多糖類（糖類）、異性体、アミノ酸とペプチド）

・生物学（食物網、生物濃縮、生物攪乱、浸透圧調節、生物ポンプ、生物指標、好気性と嫌気性、シアノバクテリア、ATP、遺伝子発現）

・地学（プレートテクトニクス、地質時代区分、海水準変動、海底資源、重力・地磁気、コリオリ力、大気・海洋循環、放射平衡、火山活動および地震に伴う自然災害、地球型惑星の層状構造）

※出題範囲の変更について

令和６年度入試より、海洋資源環境学専攻の基礎となる科目について、上記５つの科目に変更となりました。（工学Ⅰ及び工学Ⅱの２つの科目については、出題範囲に含まれなくなりました。）

4　専攻概要（専攻のホームページ　https://www.kaiyodai.ac.jp/faculty/graduate/main/#page3）

専　攻　名	専攻分野名	主な授業科目名
海洋資源環境学専攻 海洋環境を保全しつつ、資源を持続的に利用するため、海洋の成り立ちと保全、海洋生物と環境との関わり、海洋・海底資源及びエネルギーの開発と利用に係わる諸課題について、理学的及び工学的な視点からその先端的な学理と応用技術に関する教育・研究を行います。	**海洋環境科学** 海洋に生息・生育する微生物から魚類・無脊椎動物・大型動物や藻類までを対象とした分類、分布、生活史、形態、生理生態学特性について、また被食・捕食、共生などの生物間の相互関係、個体群や生態系の動態と環境との関係について教育・研究を行います。さらに、海洋（水圏環境）の物質について、海洋環境の保全や海洋の有効利用に関する教育・研究を行います。地球規模からミクロな規模までの様々な時空間スケールで発生する海洋物理現象を観測・実験・解析を通して正しく把握し、海洋循環モデルや生態系モデルを構築するとともに、その根幹を成す物理・生物環境変動機構の解明を目的とした教育・研究を行います。これら教育・研究を通して、先端技術を応用した海洋計測システムやそこから得られる多様な情報を処理する方法など、海洋環境動態の解明と予測に不可欠な事項に関する知識や技術、ならびに海洋の有効利用や海洋生態系の保全・生物多様性の維持のための方策を提示できる知識と技術を身につけます。	海洋無機化学 生元素循環論 化学海洋システム論 海底生物地球化学 海底物質科学 海洋力学 沿岸海洋物理学 海洋混合学 環境情報解析学 地球気候変動論 環境測定学 海洋リモートセンシング 環境数理解析学 海洋数理解析学 流体数理解析学 沿岸観測実習 海洋観測演習 外洋観測実習 魚類生理生態学 魚類系統分類学 藻類系統学 藻類形態分類学 生物環境学 環境生態学 無脊椎動物生理生態学 無脊椎動物系統分類学 浮遊生物生態学 海産哺乳類学 魚類行動生態学 海洋生態学 海洋生物資源生態論 化学生態学 有機構造解析 分子生物化学 環境微生物学 生物機能応用学 海洋環境科学特別演習 海洋環境科学特別研究
	海洋資源エネルギー学 海洋とその資源・エネルギーを、環境を保全しつつ持続的に有効利用するための先端的科学技術について教育研究を行います。特に、海洋環境の保全と資源・エネルギーの開発・利用とのバランスを図り、海洋生産活動の安全性・生産性向上のための工学技術に焦点を当てます。 具体的には、海底鉱物およびエネルギー資源の成因解析・探査・開発・利用および利用施設の環境性・安全性・経済性の向上、環境保全型海洋機械システム、海上作業や船の安全性、沿岸域の保全と安全な利用、海洋生物の資源量・生態・環境の音響計測、水圏環境の浄化、等に関する教育研究を行います。	海洋底地球科学 応用海洋数理工学 海上気象情報解析 海岸過程論 沿岸環境学 海洋環境機械学 海洋音響計測学 応用情報工学 移動体情報工学 海底地盤・地質工学 エネルギーデバイス工学 先端エネルギー工学 海洋化学センシング技術 国際海洋管理学 海底探査概論 海底環境解析 海洋資源エネルギー学特別演習 海洋資源エネルギー学特別研究 海洋・沿岸構造物工学
	（連携講座）	沿岸生産環境学 海洋生産環境工学

５　専門科目名及び指導教員一覧

海洋資源環境学専攻

*の付いている指導教員については、募集の有無について未確定ですので、当該教員に直接お問い合わせください。

専攻分野名	専門科目名	指導教員名			連絡先ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ (～@kaiyodai.ac.jp)
海洋環境科学	化学海洋システム論	教授		川合 美千代	michiyo
	海底生物地球化学	教授		山中 寿朗	t.yamanaka
	環境微生物学	准教授		牧田 寛子	makita
	海洋力学	教授		北出 裕二郎	ykitade
		准教授		田中 祐希	ytan002
	資源環境動態学	准教授		長井 健容	tnagai
	地球気候変動論	教授		島田 浩二	koji
	海洋リモートセンシング	准教授		溝端 浩平	mizobata
	環境数理解析学	教授		中島 主恵	nkimie
	海洋数理解析学	准教授		大縄 将史	mohnaw0
	流体数理解析学	准教授		森 直文	nmori00
	魚類生理生態学	教授		茂木 正人	masato
		准教授		板倉 光	itakura-useyaro
	藻類系統学	教授		神谷 充伸	mkamiy0
	無脊椎動物生理生態学	准教授		今 孝悦	kon
	浮遊生物機能論	教授		片野 俊也	tkatan0
		准教授		宮本 洋臣	hmiy001
	生物海洋学	助教		真壁 竜介	rmakab0
	海洋生物資源生態論	教授		鈴木 直樹	naoki
	海産哺乳類学	教授		村瀬 弘人	hmuras0
	鯨類形態学	准教授		中村 玄	gnakam1
	海洋行動生態学	准教授		松本 有記雄	ymat001
	化学生態学	教授		神尾 道也	mkamio
	構造生物化学	准教授		岡井 公彦	mokai01
	生物機能利用学	准教授		呉 海云	wuhaiyun
	環境計測・応用統計学	助教		揚 子江	zyan001
海洋資源エネルギー学	海洋底地球科学	教授		中東 和夫	knakah0
		准教授		針金 由美子	yhar001
	海洋地質学	准教授		古山 精史朗	sfuruy1
	沿岸環境学	教授		稲津 大祐	dinazu0
		准教授		吴 連慧	lwu
	海洋環境機械学	教授		戸田 勝善	toda
	海洋音響計測学	教授		甘糟 和男	amakasu
	応用情報工学	教授	*	宮本 佳則	miyamoto
		教授		内田 圭一	kuchida
	環境応用数理科学	教授		上野 公彦	ueno
	海洋・沿岸構造物工学	教授		高橋 英紀	htak001
	海底地盤・地質工学	准教授		野村 瞬	nomura.shun
	エネルギーデバイス工学	教授		井田 徹哉	tida000
	海洋気象学	准教授		竹山 優子	ytakey0
	国際海洋管理学	准教授		淵田 茂司	sfuc001
	海洋エネルギー資源化学	教授		小林 厚志	akob001
(連携講座)	沿岸生産環境学	教授		井上 誠章	(連絡先) 甘糟和男教授
(連携講座)	海洋生産環境工学			(未定)	

●海洋管理政策学専攻

1　アドミッションポリシー

＜受け入れる学生に求める関心・意欲＞

多面的に利用されている海洋を計画的に利用しかつ保全するための総合的管理・政策について関心があり、自然科学・社会科学・人文科学の３分野にまたがる学際的な課題の解決を探求する強い意欲を持つ学生を求めます。

2　試験日程※特別日程（試験日３月１５日（月）を希望する者は２４ページ「８．試験日程」を参照

選抜区分	試験区分		試験日	試験場所
一　般　選　抜 外国人留学生特別選抜	学力試験	共通科目	２月２日(火)１０時～１１時３０分	品川キャンパス
		専門科目	２月２日(火)１３時～１４時３０分	
		外 国 語	２月３日(水)１０時～１１時３０分	
		口頭試問	２月３日(水)１３時～	
社会人特別選抜	学力試験	小 論 文	２月３日(水)１０時～１１時３０分	品川キャンパス
		口頭試問	２月３日(水)１３時～	

3　共通科目名及び出題範囲

共通科目名：海洋管理政策学

出題範囲：

下記の各分野から出題し，学際的な専攻の基礎となる知識について記述式により解答を求めます。

・海洋政策学分野
・海洋利用管理学分野
・海洋環境文化学分野
・水産サステナビリティ分野

4　専攻概要（専攻のホームページ　https://www.g2.kaiyodai.ac.jp/cmpm9/）

専　攻　名	専攻分野名	主な授業科目名
海洋管理政策学専攻 本専攻は自然科学的手法に社会科学的視点を加味し、海洋環境と海洋資源の総合的管理に関わる学際的・国際的な教育・研究を推進することにより、海洋の保全と資源の有効利用を総合的かつ計画的に調査・利用・管理するための政策を企画・立案できる人材、及び海洋に関する国際的な秩序の形成・発展を担う人材を養成する。	**海洋政策学** 海洋政策学専攻分野では、社会科学的見地に立った海洋の包括的・持続的利用のための政策立案とルール作りについて、海洋利用制度、国際関係、海洋産業政策、沿岸域政策、海事政策等の各領域における研究・教育を行う。	海洋管理政策概論Ⅰ 海洋管理政策概論Ⅱ 海洋管理政策実務実習 海洋ＥＳＤ実習 乗船漁業調査特別実習 海洋利用制度論 国際海洋管理制度論 アジア海洋政策論 国際協力論 水圏社会論 海洋環境政策論 海洋リテラシー論 臨海地域開発論 沿岸域利用政策論 海洋経済政策論 海洋経済史 海洋政策学特別演習 海洋政策学特別研究
	海洋利用管理学 海洋利用管理学専攻分野においては、海洋環境・海洋資源・沿岸域環境の現状を把握し、その合理的利用と保全を目的とした管理手法について、生物資源、海底資源、沿岸域管理、海洋環境管理の各領域における教育・研究を行う。	海洋管理政策概論Ⅰ 海洋管理政策概論Ⅱ 海洋管理政策実務実習 海洋ＥＳＤ実習 乗船漁業調査特別実習 資源変動システム論 生態系管理学 生物資源管理学 生物資源解析学 海底資源論 沿岸域保全論 沿岸防災保全論 海洋利用管理学特別演習 海洋利用管理学特別研究
	海洋環境文化学 海洋管理・海洋政策の問題を多角的に精察し解決を図るために、国際的視野に立ち、自然環境と社会環境の双方を対象として、主に人文・社会系の視点から教育研究を行う。具体的には、生命や環境の問題の根本に係わる科学技術や倫理の在り方を考察する科学論および倫理学、環境と人間の関係を検討する文学および文化論、海洋環境で働く人や海洋スポーツ等を行う者の健康科学およびスポーツ科学、環境教育の練磨を目指す環境教育論、これらに国際レベルで対処するための言語技術論、以上から構成される。	海洋管理政策概論Ⅰ 海洋管理政策概論Ⅱ 海洋管理政策実務実習 海洋ＥＳＤ実習 乗船漁業調査特別実習 海洋健康科学 海洋スポーツ科学 環境教育論 海洋環境文学論 多文化社会論 科学文学論 応用倫理学 科学技術社会論 国際言語技術論 海洋環境文化学特別演習 海洋環境文化学特別研究
	水産サステナビリティ **（Umios、セブン＆アイ、伊藤謝恩育英財団寄附講座）** 国際的な水産ビジネスを行う上で持続可能性（サステナビリティ）の確保は必須である。本専攻分野では，水産物フードシステムに関わる全てのプロセス，すなわち漁業生産（漁獲規制の理論）から，加工，流通，小売および消費（表示，認証，トレーサビリティや調達方針などの設計）に至るまでのサステナビリティの確保に必要な理論や知識について，体系的かつ実践的に教育・研究を行う。	海洋管理政策概論Ⅰ 海洋管理政策概論Ⅱ 海洋管理政策実務実習 海洋ＥＳＤ実習 乗船漁業調査特別実習 水産サステナビリティ概論 水産サステナビリティ演習 水産サステナビリティ特別演習 水産サステナビリティ特別研究

５　専門科目名及び指導教員一覧

海洋管理政策学専攻

*の付いている指導教員については、募集の有無について未確定ですので、当該教員に直接お問い合わせください。

専攻分野名	専門科目名	指導教員名			連絡先ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ (～@kaiyodai.ac.jp)
海洋政策学	海洋経済政策論	教授		中原 尚知	nakahara
	沿岸域利用政策論	教授		工藤 貴史	kudot
	海洋リテラシー論	教授		佐々木 剛	t-sasaki
	国際海洋政策	教授		猪又 秀夫	hino001
	海洋経済史	教授		高橋 周	ctakah0
	臨海地域開発論	准教授		大石 太郎	toishi0
	海洋利用制度論	准教授		松井 隆宏	tmatsu2
	国際協力論	准教授		原田 幸子	sharad0
	海洋環境政策論	准教授		若松 美保子	mwakam0
海洋利用管理学	生態系管理学	教授		鈴木 直樹	naoki
	生物資源解析学	教授		北門 利英	kitakado
	海底資源論	准教授		鶴我 佳代子	tsuru
海洋環境文化学	海洋スポーツ科学	教授		千足 耕一	chiashi
		准教授		藤本 浩一	kfujim1
	環境教育論	准教授		畠山 大	dhat001
	科学文学論	教授		日臺 晴子	h-hidai
	応用倫理学	教授		萩原 優騎	yhagiw0
	科学技術社会論	教授		柿原 泰	ykakihar
	海洋環境文学論	教授		大野 美砂	misa
	多文化社会論	教授		小暮 修三	skogure
	国際言語技術論	准教授		今村 圭介	kimamu0
水産サステナビリティ（寄附講座）	水産サステナビリティ論	特任教授		片野 歩	akat001

●海洋システム工学専攻

1　アドミッションポリシー

＜受け入れる学生に求める関心・意欲＞

海洋システム工学専攻では、海洋観測・作業機械や船舶・海洋構造物などの海洋人工物を構成する機器・機械、また、これらを統合したシステムに関心を持ち、システム工学・環境工学・安全工学を核とする学問体系の下で、“海洋環境と海洋人工物との調和”という観点に立って、大局的な視点から開発・保全・修復に積極的に取り組む学生を求めます。

2　試験日程※特別日程（試験日３月１５日（月）を希望する者は２４ページ「８．試験日程」を参照

選抜区分	試験区分		試験日	試験場所
一　般　選　抜 外国人留学生特別選抜	学力試験	共通科目	２月２日(火)１０時～１１時３０分	品川キャンパス
		専門科目	２月２日(火)１３時～１４時３０分	
		外 国 語	２月３日(水)１０時～１１時３０分	
		口頭試問	２月３日(水)１３時～	
社会人特別選抜	学力試験	小 論 文	２月３日(水)１０時～１１時３０分	品川キャンパス
		口頭試問	２月３日(水)１３時～	

3　共通科目名及び出題範囲

共通科目名：海洋システム工学

出題範囲：専攻の各分野に関連する下記の数学と物理の基本的理解を問います。

・数学（線形代数学、微分積分学、常微分方程式、統計学の基礎）

・物理（力学、熱力学、電磁気学、電子回路の基礎）

4　専攻概要（専攻のホームページ　https://www.kaiyodai.ac.jp/faculty/graduate/main/#page4）

専　攻　名	専攻分野名	主な授業科目名
海洋システム工学専攻 環境との調和を図りつつ海洋資源や海洋空間の有効利用を進めるためには、船舶・海洋構造物・沿岸施設などの海洋人工物や、それらに付随する機械・情報計測器などの機能向上と効率化が必要です。また、地球的規模での環境の保全と人の安全・快適性とを考慮したシステム化が重要です。本専攻は、このような観点から(a)高性能・高効率かつ環境にやさしいエネルギーシステムの開発・高性能化、(b)陸上はもとより海中・海底環境に適合する機械・機器の開発・高性能化、(c)これらの要素技術を有機的に組み合わせる制御・システム化技術の高度化、(d)専用調査船/探査機などによる海洋・深海調査等の、各領域に関わる教育 と研究を行います。	**動力システム工学** ディーゼル、タービンおよび燃料電池等の動力源についての環境保全および省エネルギー技術の開発を行うとともに、それらに必要な電気・機械設備を含めたシステム全体および利用技術についての総合研究を行います。これらは海洋だけではなく、陸上や宇宙の分散エネルギーシステムとしても今後ますます重要となると考えられます。また、実学ベースの研究を通して、高度メインテナンス技術を併せ持った即戦力となる専門技術者を養成します。	蒸気動力工学 蒸気動力システム工学 蒸気動力実験 内燃機関環境工学 内燃機関システム工学 内燃機関実験 空気調和・冷凍工学 環境設備工学 空気調和・冷凍工学実験 電力変換工学 電気動力実験 動力エネルギー工学 動力システム工学特別演習 動力システム工学特別研究
	海洋機械工学 高性能・高効率な海洋機械・機器の設計開発に不可欠な機械システムの強度及びトライボロジー特性評価、それを構成する各種材料の腐食環境下での性能・強度評価、環境調和型エネルギー変換システムの先端技術とその基礎となる熱・流体エネルギー変換と伝達、先端材料の基礎物性とその応用、またそれらを含む物理現象の計算機シミュレーション、および海洋機械・機器を実現するための最新設計手法と加工などに関する、基礎工学に立脚した教育研究を行います。	トライボロジー学 機械応用力学 機械応用力学実験 機械材料学 機械材料実験 エネルギー変換工学 エネルギーシステム工学 エネルギー変換実験 機械システム設計学 機械要素設計学 機械設計実験 物理シミュレーション学 物理工学実験 舶用機器学 材料強度学 海洋機械工学特別演習 海洋機械工学特別研究
	海洋サイバネティクス 制御、情報、電気・電子と新しい機器の素材となる機能性材料に関する科学・技術により、海洋人工物の要素となる機械、エネルギー機器、電子機器などの性能向上を図るとともに、それらを有機的に組み合わせて、効率的で、環境への負担が少なく、さまざまな事態にも適応機能を有し安全性・快適性を保つ、海洋人工物やロボットなどを作るシステム化技術について研究するとともに、これらに関わる教育を行います。	ロボットシステム制御論 ロボットシステム設計論 ロボット工学実験 数理工学 オートマティクス実験 電子制御システム論 電子制御実験 情報制御工学 計測物質科学 大気環境計測学 大気環境物理学 大気環境計測学実験 物質科学実験 機能デバイス工学 機能デバイス工学実験 海洋サイバネティクス特別演習 海洋サイバネティクス特別研究
	海洋探査・利用工学 （連携講座） 今、我々の住む地球を知り、グローバルな視点で我々の今後を考えます。世界をリードするビッグプロジェクトの推進役である海洋研究開発機構の技術開発部門を中核として、海中・海底の探査および作業のためのロボットやシステム技術、音響による海中探査や太平洋全体のような大域的環境測定技術、および浮体による波力発電、潮力発電、空港や洋上工場などの海洋利用技術に関する研究分野における、実プロジェクトを通しての教育研究を行います。	水中探査機器工学 水中探査機器工学実験 水中音響工学 水中音響工学実験 浮体利用工学 浮体利用工学実験 海洋探査・利用工学特別演習 海洋探査・利用工学特別研究

５　専門科目名及び指導教員一覧

海洋システム工学専攻
*の付いている指導教員については、募集の有無について未確定ですので、当該教員に直接お問い合わせください。

専攻分野名	専門科目名	指導教員名			連絡先ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ (～@kaiyodai.ac.jp)
動力システム工学	内燃機関システム工学	准教授		佐々木 秀次	hisasaki
	電力変換工学	教授		木船 弘康	kifune
		准教授		米田 昇平	komeda
	動力エネルギー工学	教授		波津久 達也	hazuku
		准教授		井原 智則	ihara
	空気調和・冷凍工学	准教授		國吉 直	nkuniy0
海洋機械工学	トライボロジー学	教授	*	地引 達弘	jibiki
	機械応用力学	教授		藤野 俊和	tfujin0
	エネルギー変換工学	教授	*	井上 順広	inoue
		准教授		地下 大輔	djige00
	マイクロ機械学	教授		田中 健太郎	kentaro
	構造・機能材料学	准教授		盛田 元彰	mmorit0
海洋サイバネティクス	ロボットシステム工学	教授		清水 悦郎	shimizu
	制御工学	准教授		小池 雅和	mkoike0
	電子制御システム工学	教授		田原 淳一郎	jtahar0
	機能デバイス工学	教授	*	大貫 等	ohnuki
		助教		柴田 恭幸	tshiba0
	情報通信工学	教授		大島 浩太	kxoh
	大気環境物理学	教授		関口 美保	miho
	計測物質科学	教授		藤田 渉	wfujit0
海洋探査・利用工学 （連携講座）	水中探査機器工学	准教授		石橋 正二郎	(連絡先) 清水悦郎教授
	水中音響工学	教授		越智 寛	
	浮体利用工学	教授		大澤 弘敬	

●海運ロジスティクス専攻

1　アドミッションポリシー

＜受け入れる学生に求める関心・意欲＞

海運ロジスティクス専攻では、地球的規模の視野を持ち、海運と物流の安全・効率に関する諸問題を発見し、その解を得るために必要な理論的・実学的素養の修得に強い意欲を持つ学生を求めます。

2　試験日程※特別日程（試験日３月１５日（月）を希望する者は２４ページ「８．試験日程」を参照

選抜区分	試験区分		試験日	試験場所
一　般　選　抜 外国人留学生特別選抜	学力試験	共通科目	２月２日(火)１０時～１１時３０分	品川キャンパス
		専門科目	２月２日(火)１３時～１４時３０分	
		外 国 語	２月３日(水)１０時～１１時３０分	
		口頭試問	２月３日(水)１３時～	
社会人特別選抜	学力試験	小 論 文	２月３日(水)１０時～１１時３０分	品川キャンパス
		口頭試問	２月３日(水)１３時～	

3　共通科目名及び出題範囲

共通科目名：海運ロジスティクス

出題範囲：おおむね下記の分野に関係する理論的な解析を行う力ならびに基礎的な知識を問います。

・数学（線形代数、微分積分、常微分方程式）
・情報システム工学
・環境システム工学
・海洋テクノロジー学
・海上安全テクノロジー学
・流通システム工学
・流通経営学

4　専攻概要（専攻ホームページ　https://www.kaiyodai.ac.jp/faculty/graduate/main/#page6 ）

専　攻　名	専攻分野名	主な授業科目名
海運ロジスティクス専攻 海上輸送の主体である船舶の安全運航を、情報、通信、自動制御、システム最適化、運航管理等に関する高度な技術を用いて実現し、海洋環境保全に配慮しながら海上輸送の効率化を図る教育研究を行うとともに、蓄積された船舶運航技術を新たな海洋構造物の開発・管理・運用をはじめとする様々な分野に応用します。また、商品や貨物の流れを、海・陸・空輸送を含む複合一貫輸送や保管・流通加工などを含む生産から消費までの流れの中で捉え、物流（ロジスティクス）の経営工学的最適化や経済的効率化、流通情報のネットワーク化など、物流（ロジスティクス）の諸分野について社会工学的視点から計画設計、運用管理および政策などに関する教育研究を行います。	**情報システム工学** 海運の主体である船舶を安全かつ効率的に運航するため、船陸間通信を用いた次世代の船舶運航管理、電子海図（ＥＣＤＩＳ）・船舶自動識別システム（ＡＩＳ）などの高度な情報技術を用いた船舶の衝突回避や港湾交通管理、海上におけるリモートセンシング、最適航路選定法、危機管理手法など海事情報・海洋情報を用いた情報システムの設計、管理、運用などに関する教育研究を行います。	知識情報システム設計論 知識情報設計演習 水中工学 水中工学実験 電波情報システム 航行システム演習 航路計画論 航海情報論 航海情報論演習 保健・医療と海洋 情報システム取引と民事責任 情報システム取引と民事責任演習 海上輸送システム法学 海上輸送システム法学実習 言語情報処理論 自然言語と計算機インターフェース 海上保険法 損害保険法と民事責任 運航支援システム論 運航支援システム演習 情報システム工学特別演習 情報システム工学特別研究 画像情報解析論 画像情報解析論演習
	環境システム工学 環境保全に必要な大気および海洋の諸現象の理解と予測に資するデータ解析や観測的研究と教育、環境負荷低減を考慮したエネルギー利用効率化のための総合的エネルギー管理に関する実験及び理論的研究と教育、また環境リスク評価手法やリスク軽減のための高度な安全遂行システムの確立を目指す理論的及び実験的研究と教育、人類の海洋環境への生態学的適応や諸民族集団の海洋資源保全戦略を海洋人類学の視点から分析する研究と教育を行います。	動力エネルギー実験 環境解析論 環境予測論 環境科学演習 機能安全工学 高信頼性制御システム工学 システム安全工学実験 海洋人類学 海洋人類学演習 海洋考古学 環境システム工学特別演習 環境システム工学特別研究
	海洋テクノロジー学 船舶を安全に運航するために、波浪中における船体運動予測、操縦性の解析と新しい操船方法、統計的運航管理の方法、人間機械系解析による安全運航確保、気象・海象予測、ＧＰＳなどによる精密測位、船舶の誘導制御・定点保持・自動操船技術などに関する教育研究を行い、またメガフロートなどの新しい海洋構造物の設計、運用、管理技術、さらに海事社会を円滑に進めるための管理技術などについて教育研究を行います。	移動体通信システム 衛星航法工学 海運と海洋特別セミナー 船体運動解析学 船型学 国際海上安全管理学 浮体運動学 運航システム設計工学 操船システム工学 海事英語論 安全運航管理論 海洋テクノロジー学実験 海洋テクノロジー学特別演習 海洋テクノロジー学特別研究 慣性センサシステム論
	海上安全テクノロジー（連携講座） 世界経済や日本の国民生活を支える上で、安全で効率的な海上・航空輸送の確保は必要不可欠であり、重要な研究課題となっています。 本講座では、修士学生に対し、海上技術安全研究所ならびに電子航法研究所で実施している研究業務と連携して、安全で効率的な海上・航空輸送を実現するための船舶、推進システム、運航、船用新材料、電子航法、交通管制に関する研究指導を行います。	海上輸送システム論 海上輸送システム演習 海上交通システム論 海上交通システム演習 航法電子工学 交通管制工学 海上安全テクノロジー特別演習 海上安全テクノロジー特別研究

	流通システム工学 商品や貨物の流れを、海・陸・空輸送を含む複合一貫輸送や保管・流通加工などを含む生産から消費までの流れの中で捉え、物流（ロジスティクス）の経営工学的最適化や流通情報のネットワーク化など、物流（ロジスティクス）の諸分野について社会工学的視点から計画設計、運用管理および政策などに関する教育研究を行います。	国際輸送セキュリティ工学 物流貨物管理工学実験 サプライ・チェイン最適化工学 流通経営工学演習 ロジスティクス工学 ロジスティクス工学演習 交通計画論 地域計画学演習 流通設計論 流通情報システム実験 数理科学 情報数理 視覚情報処理論 視覚情報処理実験 応用解析 国際教育開発論 空間情報工学 離散数理 流通システム工学特別演習 流通システム工学特別研究
	流通経営学 海運、港湾、陸運、空運そして倉庫などの物流活動との関連において、我が国の流通経済、流通産業、交通経済および貿易などの諸問題について経営組織、産業組織あるいは産業構造、産業政策などの観点から商業的流通全般にわたり実証的かつ規範的な分析と政策提言を行いうるような教育と研究を行います。また、グローバル化における経済の実情を踏まえた国際的かつ実務的教育と研究を行います。	社会事情論 交通政策論 交通政策演習 国際交通論 交通経済論演習 産業構造論 流通経済学演習 産業組織論 産業組織論演習 流通経営学特別演習 流通経営学特別研究 統計科学 統計科学演習

５　専門科目名及び指導教員一覧

海運ロジスティクス専攻

*の付いている指導教員については、募集の有無について未確定ですので、当該教員に直接お問い合わせください。

専攻分野名	専門科目名	指導教員名			連絡先ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ (～@kaiyodai.ac.jp)
情報システム工学	水中工学	教授		近藤 逸人	hkondo
	画像情報解析論	教授		古谷 雅理	tfuruya
	電波情報システム	教授		村井 康二	kmurai0
	航路計画論	教授		田丸 人意	tamaru
	情報システム取引と民事責任	教授	＊	金岡 京子	kaneoka
	航海情報論	准教授		榧野 純	kayano
	運航支援システム論	准教授		西崎 ちひろ	cnishi0
環境システム工学	環境予測論	准教授		平田 英隆	hhir001
	環境解析論	教授		小橋 史明	kobashi
海洋テクノロジー学	浮体運動学	准教授		増田 光弘	masuda
	運航システム設計工学	教授		内野 明子	uchino
		准教授		石橋 篤	isibasi
	移動体通信システム	教授		久保 信明	nkubo
	国際海上安全管理学	教授		南 清和	minami
	船型学	教授		南 清和	minami
	操船システム工学	教授		岡崎 忠胤	okazaki
	慣性センサシステム論	准教授		福田 厳	gfukud0
海上安全テクノロジー （連携講座）	海上輸送システム論			（未定）	(連絡先) 南清和教授
	安全推進システム工学			（未定）	
	海上システム安全論	准教授		正信 聡太郎	
	交通管制工学			（未定）	(連絡先) 久保信明教授
	航法電子工学	教授		坂井 丈泰	
		准教授		米本 成人	
流通システム工学	ロジスティクス工学	准教授		橋本 英樹	hhashi0
	ネットワーク解析	教授		原口 和也	haraguchi
	交通計画論	准教授		坂井 孝典	tsakai2
	流通設計論	教授		黒川 久幸	kurokawa
	応用解析	教授		竹縄 知之	takenawa
	情報数理	教授		関口 良行	yoshi-s
	離散数理	准教授		茂木 康平	kmoteg0
	空間情報工学	教授		渡部 大輔	daisuke
	流通情報システム	准教授		麻生 敏正	toshimasa_aso
流通経営学	産業組織論	教授		奥村 保規	yokumu0
	交通経済論	教授		遠藤 伸明	nendo
	統計科学論	准教授		田上 悠太	ytan001

●食品流通安全管理専攻

1　アドミッションポリシー

＜受け入れる学生に求める関心・意欲＞

フードサプライチェーンのさまざまな過程で食品安全・品質管理について体系的に学習し基礎力を蓄積すると同時に、問題解決能力・判断力の鍛錬を通じて、食品安全・品質管理の専門家になること、さらに、食品安全に係わるリスクを考慮したうえで経営方針を企画策定し、実施の指揮を取ることが出来る総合的な能力を持つ経営者・管理者になることを目指し、自己の能力を開発したいという強い意欲を持つ学生を求めます。

2　試験日程※特別日程（試験日３月１５日（月）を希望する者は２４ページ「８．試験日程」を参照

選抜区分	試験区分		試験日	試験場所
一　般　選　抜 外国人留学生特別選抜	学力試験	共通科目	２月２日(火)１０時～１１時３０分	品川キャンパス
		専門科目	２月２日(火)１３時～１４時３０分	
		外 国 語	２月３日(水)１０時～１１時３０分	
		口頭試問	２月３日(水)１３時～	
社会人特別選抜－Ａ	学力試験	小 論 文	２月３日(水)１０時～１１時３０分	品川キャンパス
		口頭試問	２月３日(水)１３時～	
社会人特別選抜－Ｂ	学力試験	口頭試問	２月３日(水)１３時～	品川キャンパス

3　共通科目名及び出題範囲

共通科目名：食品流通安全管理学

出題範囲：食の安全・安心に係わる事項を理解する上での基本的な能力を問います。具体的には、食品の安全・安心に係わる文章を読み、何が問題であるかを状況分析し、解決策の提案を問うような問題を出します。

4　専攻概要　(※次ページ参照)

5　専門科目名及び指導教員一覧

専門科目名：出題範囲の３分野（食品科学、品質安全マネジメント、食品流通・ロジスティクス）のうち１分野を出願時に選択

指導教員：　食品流通安全管理専攻の指導教員は、プロジェクト研究の担当教員となりますので、選択する必要はありません。

ただし出願にあたっては、必ず専攻主任に事前に連絡をとり、受験の承諾を得てください。

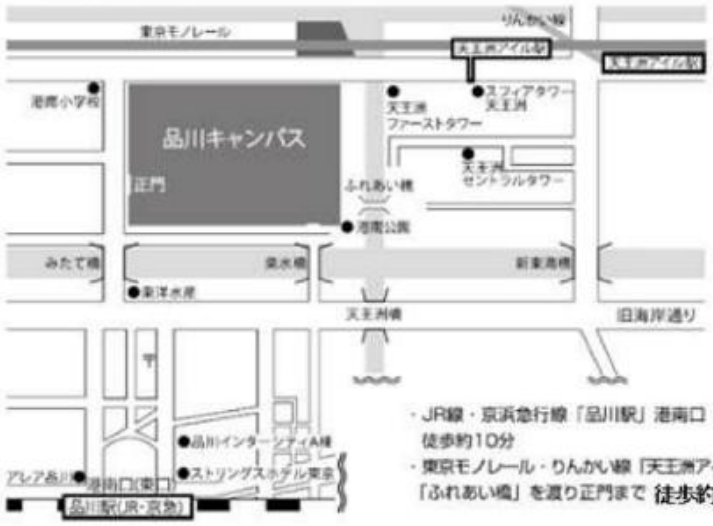
[専攻主任：濱田奈保子教授　（連絡先メールアドレス：hsnaoko@kaiyodai.ac.jp）]

6　専攻概要　（専攻ホームページ　https://www.g2.kaiyodai.ac.jp/csmf8/）

専　攻　名	授業科目名		担当教員名
食品流通安全管理専攻 グローバル化した社会においては、食品の一次生産から最終消費に至るフードサプライチェーンのすべての過程で食品が適正に取り扱われなければ食品の安全は保てません。 本専攻では、フードサプライチェーンの全体に係わる食品安全マネジメントシステムを一般論として理解するとともに、人材養成のニーズの大きな食品生産・加工分野及び食品流通分野に重点をおいた食品安全・品質管理専門家を養成します。同時に、食品安全に係わるリスクを考慮した上での経営方針を企画策定し、実施の指揮をとることが出来る、総合的な能力を持つ経営者・管理者としての人材を養成します。	**講義科目**	食品流通安全管理システム概論	濱田 奈保子
		食の安全安心と消費者	新谷 喜久夫
		HACCPシステムⅠ	松本 隆志
		HACCPシステムⅡ	松本 隆志
		食品衛生化学	小林 征洋
		食品微生物要論	久田 孝
		農畜産物品質安全管理論	平野 展代、松本 隆志
		水産物品質安全管理論	二見 邦彦
		食品製造での品質管理の実際	原口 能成
		ロジスティクス総論	黒川 久幸
		食品流通論	中川 雄二
		食品ロジスティクスの実際	早川 典雄
		食品トレーサビリティ論	小川 美香子
		食料国際流通論	婁 小波
		財務会計	酒井 翔子
		企業法務	カンデル ビシュワ ラズ
		リスク管理論	川村 公人
		リスク分析論	北門 利英
		食品安全行政と食品関連法規	松本 隆志
		コミュニケーション論	生天目 知美
		自己開発プラン	濱田 奈保子、永井幸枝
		疫学	井上 泉
		食品情報管理論	小川 美香子
		統計的意思決定論	柴田 真理朗
	演習・調査科目	食品流通安全管理ケース演習Ⅰ	小川 美香子
		食品流通安全管理ケース演習Ⅱ	山口 治子
		食品流通安全管理ケース演習Ⅲ	未定
		食品流通安全管理ケース演習Ⅳ	森田 満樹
		食品流通安全管理ケース演習Ⅴ	松本 隆志
		HACCPシステム演習	松本 隆志
		食品危害モニタリング法演習	濱田 奈保子、藤田 孝、 小林 征洋
		食品生産・製造地調査	小川 美香子
	プロジェクト研究	食品流通安全管理システム研究	専攻各教員
		次世代モデル研究	専攻各教員
	資格認定科目	食品安全マネジメントシステム論	田中 千可子、安藤 大輔

交 通 の 案 内

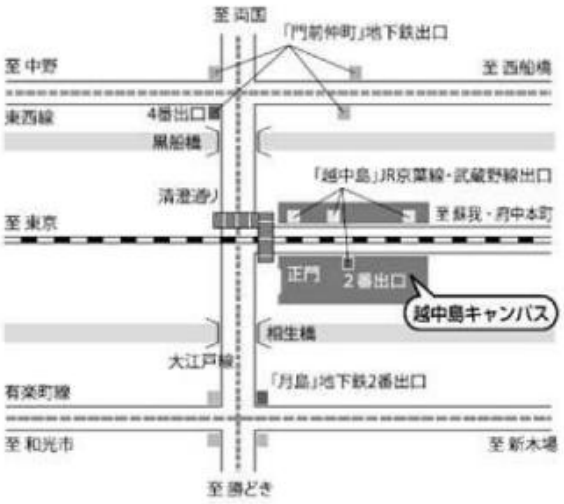
●品川キャンバス



・JR線・京浜急行線「品川駅」港南口（東口）から徒歩約10分

・東京モノレール・りんかい線「天王洲アイル駅」から「ふれあい橋」を渡り正門まで **徒歩約15分**

●越中島キャンバス



●JR京葉線・武蔵野線「越中島駅」（各駅停車のみ）2番出口徒歩2分

●地下鉄東西線、大江戸線「門前仲町駅」4番出口徒歩10分

●地下鉄有楽町線、大江戸線「月島駅」2番出口徒歩10分

学生募集要項に関する問合せ先
〒108-8477　東京都港区港南４－５－７
東京海洋大学　入試課入試第二係
TEL　03-5463-4265
MAIL　n-nyusi2@o.kaiyodai.ac.jp
URL：https://www.kaiyodai.ac.jp/